cisco.



Cisco HyperFlex Systems リリース 4.0 インストール ガイド (Microsoft Hyper-V 用)

初版:2019年4月29日 最終更新:2020年4月13日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー http://www.cisco.com/jp お問い合わせ先:シスココンタクトセンター 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む) 電話受付時間:平日 10:00~12:00、13:00~17:00 http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/ © 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第1章 概要 1 はじめに 1 インストール ワークフロー 1 第2章 インストール前の情報 5 インストール前の情報 5 第3章 インストール前のチェックリスト 9 システム要件 9 Microsoft Hyper-Vのソフトウェア要件 9 ネットワーク サービス 12 ポート要件 13 注意事項と制約事項 14 インストール前のタスク概要 14 DNS レコードの追加 15 制限された委任の有効化 15

第4章 インストール 17

> インストレーションタスク概要 17 HX データ プラットフォーム インストーラの展開 17 HX Data Platform インストーラでのスタティック IP アドレスの設定 24 Hyper-V クラスタの展開 25 ベストプラクティス 40

第5章	インストール後 41
	インストール後のタスクの概要 41
	最初のデータストアを作成する 42
	ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アドレスの設定 44
	(任意)インストール後の制約付き委任 44
	ローカルのデフォルトパスを設定する 45
	ファイル共有ウィットネスの構成 46
	Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認 53
	フェールオーバー クラスタ マネージャの検証 53
	Hyper-V クラスタへの VM の展開 55
	管理ステーションまたはホストへの RSAT ツールのインストール
	Hyper-V Manager による VM の管理 59
	Failover Cluster Manager による VM の管理 60
	SCVMM ホストへのデータ パス アクセスの開始 62
	SCVMM への HyperFlex 共有の設定 62
	Windows Defender の再有効化 65
	ホスト間の VM の移行 65
	インストール後の VLAN の追加 66
第6章	クラスタ拡張―コンバージドノード 67

クラスタ拡張―コンバージドノード 67

第7章

クラスタ拡張—コンピューティング専用ノード 71 概要 71 拡張前のチェックリスト 71 クラスタ拡張: M5 ブレードサーバ (M 2 SATA) または M4 ブレードサーバ (ローカル SAS ド ライブ) 76 手順の概要 76 Cisco UCS Manager の設定 77 Microsoft OS のインストール 85

55

目次

ハイパーバイザ設定、HXDP ソフトウェアのインストールとクラスタの拡張 97 クラスタ拡張: M4 ブレード サーバ (ファイバ チャネル SAN) 109

概要 109

Microsoft Windows OS のインストール 110

第8章 トラブルシューティング情報 123

トラブルシューティング 123

第9章 付録 125

Cisco HyperFlex ノードの設置 125

ファブリックインターコネクトの設定 126

GUI によるプライマリファブリックインターコネクトの設定 127

GUI による従属ファブリックインターコネクトの設定 129

WinSCP を使用してインストーラ VM に iso と img ファイルをアップロードするには 130 DNS レコード 132

HX サービス アカウント パスワードの更新 133

I



概要

- •はじめに (1ページ)
- ・インストールワークフロー (1ページ)

はじめに

このガイドでは、*Microsoft Hyper-V*に*Cisco HyperFlex System* をインストールおよび設定する方 法について説明します。

*VMware ESXi*に *Cisco HyperFlex* システムをインストールするには、次のサイトにあるインストールガイドを参照してください。https://www.cisco.com/c/en/us/support/hyperconverged-systems/ hyperflex-hx-data-platform-software/products-installation-guides-list.html

Cisco HyperFlex Systems for Edge (リモート オフィスおよびブランチ オフィス) をインストール するには、https://www.cisco.com/c/en/us/support/hyperconverged-systems/ hyperflex-hx-data-platform-software/products-installation-and-configuration-guides-list.html にある展

nypernex-nx-data-platform-software/products-instantation-and-configuration-guides-list.ntm 開ガイドを参照してください。

インストール ワークフロー

以下の図と表は、インストールワークフローの概要を説明しています。



タスク	説明	参照先
インストール前	HyperFlex ノードをラックし、 Cisco UCS ファブリック イン ターコネクト (FIs) をセット アップします。	を参照してください。 Cisco HyperFlex ノードの設置 (125 ページ)
	インストール前のチェックリ ストに記入します。	インストール前のタスク概要
インストール	Microsoft Hyper-V Manager を 使用した HX データ プラット フォーム インストーラ展開	HX データ プラットフォーム インストーラの展開 (17ペー ジ)
	HX データ プラットフォーム インストーラを使用してCisco UCS Manager を設定します。	Hyper-V クラスタの展開 (25 ページ)
	Windows Server と Hyper V を インストールし、HX データ プラットフォームを展開し て、最初のクラスタを作成し ます。	
	Windows Server と Hyper V を インストールし、HX データ プラットフォームを展開し て、最初のクラスタを作成し ます。	

I

タスク	説明	参照先
インストール後	HXクラスタ設定後のタスク。	クラスタ拡張—コンバージド ノード (67 ページ)
		最初のデータストアを作成す る (42 ページ)





インストール前の情報

・インストール前の情報 (5ページ)

インストール前の情報

インストールを簡単にするために、インストール時に必要な次の情報を収集します。次の場所 から編集可能なプレインストール情報シートの PDF をダウンロードします。

Cisco HyperFlex Systems プレインストール情報シート

グローバル情報

Cisco UCS Manager バージ∃ ン	DNS Server 1	
NTPサーバ1 (NTP Server 1)	DNS Server 2	
NTP サーバ 2	ドメイン名(AD)	
タイム ゾーン	SCVMM ホスト	
SMTP		

ファブリック インターコネクトの情報

コンポーネン ト	IP アドレス	Hostname	[ユーザ名 (Username)]	パスワード	説明
FI VIP			admin		
FI-A			admin		
FI-B			admin		

I

コンポーネン ト	IP アドレス	Hostname	[ユーザ名 (Username)]	パスワード	説明
IP-Ext-Mgmt : (範囲)					最低でも 1 ip pr の状態で FI mgmt と同じサ ブネットであ る必要があり ます。HX ノード
サブネット					EXT mgmt と FI mgmt
デフォルト ゲートウェイ					EXT mgmt と FI mgmt
HX インス トーラ					
HX インス トーラ サブ ネット					
HX インス トーラ ゲート ウェイ					

HX インストーラ情報

MAC プール プレフィックス (00: 25:B5)

HX の ノー ドスト 名	Hostrame	ノー ド管 理 IP	Magnet Subnet Mask	管デフルゲトウイ 理 ォトー ェ	ノー ド デー タ IP	HX コ ント ラ デー タ IP	Data Subnet Mask	デタフルゲトウイ	(プ シンラブ行 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ラブ行サネト	ラブ行サネト	ラブ行フルゲトウイイ移デォトーェ
ノー ド1												
ノ <u>ー</u> ド2												

HX の ノーホ ト 名	Hosterne	ノー ド管 理 IP	Magnet Subnet Mask	管デフルゲトウイ 理 オトー ェ	ノー ド テー タ IP	HX コ ント ロー ラ デー タ IP	Data Subnet Mask	デタフルゲトウイーデォトーェ	(才 プ ョ) フ ラ ブ 行 IP	ラブ行サネト	ラブ行サネト	ラブ行フルゲトウイイ移デォトーェ
ノー ド3												
ノー ド4												
ノー ド 5												
ノー ド 6												
ノー ド 7												
ノー ド 8												
Microsoft クラ スタ 名												
HX 接続 UI												
HX ファ イル クラ スタ 名												

VLAN 情報

使用法	名前	Default VLAN ID	選択された VLAN ID
管理	hx-inband-mgmt	3091	

使用法	名前	Default VLAN ID	選択された VLAN ID
storage-data	hx-storage-data	3092	
ライブ移行	hx-livemigrate	3093	
VM ネットワーク	vm-network	3094	

Hyper-V 情報

HX クラスタ名(HX Cluster Name)	
Hyper-V クラスタ名	

制限された委任

識別名	
hxadmin パスワード	



インストール前のチェックリスト

- システム要件 (9ページ)
- •注意事項と制約事項(14ページ)
- •インストール前のタスク概要 (14ページ)

システム要件

ハードウェア要件

要件	説明
Cisco HX データ プラットフォーム サーバ	Cisco HyperFlex M5 コンバージド ノード:
	・ すべてのフラッシュ—Cisco HyperFlex HXAF240c M5、HXAF220c M5
	・ハイブリッド—Cisco HyperFlex HX240c M5、HX220c M5
Cisco UCS ファブリック インターコネクト (FI)	Cisco UCS ファブリックインターコネクト(FI) 6200 および 6300
	4.0 (1b) 以降、Cisco UCS ファブリック イン ターコネクト (FI) 6400

Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件

ソフトウェア要件には、互換性のある Cisco HyperFlex Systems (HX) コンポーネントおよび Microsoft Hyper-V (Hyper-V) コンポーネントのバージョンを使用していることを確認するため の検証が含まれています。

HyperFlex ソフトウェアのバージョン

HX コンポーネント(Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア)は、別個のサーバにインストールされます。HX ストレージクラ スタ内で使用される各サーバの各コンポーネントに互換性があることを確認します。

Cisco HyperFlex M5 コンバージドノード: ハイブリッド (Cisco HyperFlex HX240c M5、 HX220c M5) およびすべてのフラッシュ (Cisco HyperFlex HXAF240c M5、HXAF220c m5) について、Cisco UCS Manager 4.0 (2b) がインストールされていることを確認します。HX 4.0 (1a) は、すべての NVMe (HXAF220C M5SN) ノードで Hyper-v をサポートしていません。インストール要件および手順に関する詳細は、『Microsoft Hyper-V の Cisco HyperFlex システム インストール ガイド』を参照してください。

表 1: サポートされている Hyper-V上の M5 サーバ HyperFlex ソフトウェアのバージョン

HyperFlex リリース	M5 推奨サーバ ファームウェア
4.0(2b)	4.0 (4h)
4.0(2a)	4.0 (4g)
4.0(1b)	4.0 (4e)
4.0(1a)	4.0 (4e)

Microsoft コンポーネント	バージョン
Windowsオペレーティングシステム(Windows OS)	Windows Server 2016 Datacenter コアおよびデス クトップ エクスペリエンス。
	 (注) Windows Server 2016 Datacenter Core & Desktop Experience では、Windows 2016 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 1884であ る必要があります。
	Windows Server 2019 Datacenter-デスクトップ の体験は、HXDP 4.0.1 (a) 以降からサポートさ れています。
	 (注) Windows Server 2019 Desktop Experience では、Windows 2019 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 107 である必要があります。
	Windows Server 2019 Datacenter-Core は現在サ ポートされて いません 。
	また、以下は現在サポートされていないこと に注意してください。
	ISO および Retail ISO をアクティベートした OEM は現在サポートされて いません 。
	Windows 2012r2 などの Windows サーバの以前 のバージョンはサポートされて いません 。
	ISO の英語以外のバージョンはサポートされ て いません 。
Active Directory	Windows 2012 以降のドメインおよびフォレス ト機能レベル

表 2: サポートされる Microsoft ソフトウェア バージョン

サポートされている Microsoft ライセンス エディション

1 個以上の HyperFlex ホストにインストールされている Microsoft Windows サーバのバージョン は、『Microsoft ライセンス取得』に記載されている Microsoft ライセンス要件に従ってライセ ンスが取得されている必要があります。

ネットワーク サービス

[ネットワーク サービス(Network Service)]	説明
DNS	Microsoft アクティブディレクトリおよびアク ティブ ディレクトリ統合 DNS は、HX プラッ トフォームに必要です。
	スタンドアロンDNS サーバはサポートされて いません。非 Windows DNS サーバはサポート されていません。
NTP	コントローラ VM およびホスト間で時間が同 期されていることを確認します。そのため、 アクティブ ディレクトリ時間同期エンジンを 使用します。
	注目 HX Data Platform インストーラ にプ ロンプトされたら、NTPサーバとし てアクティブ ディレクトリ ドメイ ン名を使用するようにしてくださ い。
	 (注) Hyperflex クラスタ内のすべての Active Directory サーバをネストしな いでください。Active Directory は Hyperflex クラスタの外部に存在する 必要があります。これにより、クラ スタで問題が発生した場合でも認証 を行うことができます。
	 (注) アクティブディレクトリをNTPサーバとして使用している場合、NTPサーバがMicrosoftベストプラクティスに従って設定されていることを確認してください。詳細については、『Windows Time Service Tools and Settings』を参照してください。NTPサーバが適切に設定されていない場合、同期が行われず、クライアント側で時間同期を修正する必要が発生する可能性があります。詳細については、『Synchronizing ESXi/ESX time with a Microsoft Domain Controller』を参照してください。

ポート要件

ネットワークがファイアウォールの背後にある場合、標準的なポート要件の他に、Microsoftでは Hyper-V Manager と Hyper-V クラスタ用のポートが推奨されています。次のファイアウォール ポートが開いていることを確認します。

ポート番号	プロトコル	方向	使用法
80	HTTP/TCP	着信	HX Data Platform インス トーラ
443	HTTPS /TCP	着信	HX Data Platform インス トーラ
2068	仮想キーボード/ ビデオ/マウス (vKVM)/TCP	着信	hx-ext-mgmt IP プール(HX ノードあたり 1 個の IP)
22	SSH/TCP	受信/送信	HX Data Platform インス トーラ
110(安全な POP ポートは TCP 995 です)	POP3/TCP	受信/送信	
143(安全な IMAP ポートは TCP 993 です)	IMAP4/TCP	受信/送信	
25	SMTP/TCP	発信	メールサーバ
53(外部ルック アップ)	DNS/TCP/UDP	発信	DNS
123	NTP/UDP	発信	NTP
161	SNMP ポーリング	着信	SNMP
162	SNMP トラップ	発信	SNMP
8089	ТСР	着信	HX Data Platform インス トーラ
445	SMB 2	着信	HX コントローラ VM
5986	НТТР/ТСР	受信/送信	HX CLI、HX Connect

注意事項と制約事項

MicrosoftHyper-Vインストール時に最適なエクスペリエンスは、以下の特定のガイドラインに 従う必要があります。

- Microsoft System Center 2016 Virtual Machine Manager (Windows VMM 2016) 評価版に HyperFlex ノードを追加すると、エラーが発生します。この問題を解決するには、 Microsoft ヘルプ 記事 を参照してください。
- •次の機能は現在のリリースでサポートされていません。
 - ・SED ドライブ
 - ネイティブ複製
 - Cisco HyperFlex Edge
 - •ストレッチ クラスタ
 - Intersight ベースの展開
 - ・LAZ およびスケール 8 以上のノード
 - •HX M4 ハードウェア
 - 共有 VHDX/VHD セット
 - 一時停止状態ではないクラスタノード上で、Hyper-V ReadyClone PowerShell スクリプトのみを使用します。

インストール前のタスク概要

以下がインストールされており、HyperFlex をインストールおよび展開する前に設定されてい ることを確認します。

タスク	説明
Cisco UCS ファブリック インターコネクト セット アップを含む HyperFlex ノードのラッ ク	Cisco HyperFlex ノードの設置 (125 ページ) を参照してください。
Cisco UCS マネージャ バージョンの確認	Cisco UCS マネージャ バージョン 4.0(2d) また はそれ以降を使用していることを確認します。 最新のサポートされたリリースについては、 Cisco HX データ プラットフォームのリリース ノート を参照してください。

タスク	説明
VLAN の確認	非ネイティブのVLANに対応するように、アッ プストリーム スイッチを設定します。Cisco HX Data Platform インストーラは、デフォルト で VLAN を非ネイティブに設定します。
DNS レコードの追加	インストールの DNS A および PTR レコード を追加する必要があります。を参照してくだ さい。 DNS レコードの追加 (15 ページ)
アクティブ ディレクトリのドメイン管理者を 設定する。	を参照してください。 制限された委任の有効 化 (15 ページ)

DNS レコードの追加

インストールの前に、DNS A レコードと PTR レコードを追加して、インストールの失敗を回 避する必要があります。

デバイス	説明
Hyper-V ホスト	各ホストについて、A レコードと PTR レコー ドを追加します。
コントローラ ノード	A レコードのコントローラ VM IP アドレス。 これは管理 IP ネットワーク上の eth0 です。
Windows フェールオーバー クラスタ	Windows フェールオーバー クラスタ オブジェ クト。
HX 接続 UI	クラスタ管理 IP アドレス。

PowerShell コマンドとして表示されるレコード(ご使用の環境で直接実行する)については、このガイドの「DNS レコード」セクションを参照してください。

制限された委任の有効化

制限された委任を有効にするために、このトピックの手順を完了する必要があります。

制限された委任は、アクティブディレクトリに対してコンピュータを参加させるために使用し ます。HX Data Platform インストーラを介して制限された委任情報を提供します。制限された 委任は、手動で作成されたサービス アカウントを使用します。例: hxadmin。このサービス ア カウントはアクティブディレクトリにログインし、コンピュータを参加させ、HyperFlex スト レージョントローラ VM から認証を実行するために使用されます。アクティブディレクトリ コンピュータ アカウントは、以下を含む HyperFlex クラスタのすべてのノードに適用されま す。

- Hyper-V ホスト
- HyperFlex ストレージ コントローラ VM
- Hyper-V ホスト クラスタの名前欄
- HyperFlex クラスタのサーバ メッセージ ブロック (SMB) 共有の名前欄

手順

ステップ1 HX アカウントとして hxadmin ドメイン ユーザ アカウントを作成します。

- ステップ2 アクティブディレクトリ(AD)の組織単位(OU)を作成します。例: HyperFlex。
 - a) アクティブ ディレクトリ ユーザとコンピュータ管理ツールを使用して、OU を作成しま す。[表示 > 詳細機能] を選択して詳細機能を有効にします。作成した OU を選択します。 たとえば、HyperFlex > プロパティ > 属性エディタ。
 - b) OU で識別される名前属性を探し、HX Data Platform インストーラ ウィザードの [制限され た委任] ウィザードで要求されるように情報を記録します。値は次のようになります。
 OU=HyperFlex, DC=contoso, DC=com。

Get-ADOrganizationalUnit コマンドレットを使用して、組織ユニット(OU)オブジェクト を取得するか、検索を実行して複数のOUを取得します。

```
Get-ADOrganizationalUnit
[-AuthType <ADAuthType>]
[-Credential <PSCredential>]
-Filter <String>
[-Properties <String[]>]
[-ResultPageSize <Int32>]
[-ResultSetSize <Int32>]
[-SearchBase <String>]
[-SearchScope <ADSearchScope>]
[-Server <String>]
[<CommonParameters>]
```

- ステップ3 アクティブディレクトリユーザとコンピュータ管理ツールを使用して、新しく作成されたOU の hxadmin ユーザーに完全な権限を付与します。詳細機能が有効になっていることを確認しま す。そうでない場合は、手順2に戻ります。
 - a) 作成した OU を選択します。たとえば、[HyperFlex] > [プロパティ (Properties)] > [セキュ リティ (Security)] > [詳細 (Advanced)]。
 - b) [所有者の変更]を選択し、hxadmin ユーザを選択します。
 - c) [詳細 (Advanced)] ビューで [追加 (Add)] をクリックします。
 - d) 方針を選択肢、hxadmin ユーザを選択します。次に、[完全な制御] を選択し、[OK] をク リックします。



インストール

・インストレーション タスク概要 (17ページ)

インストレーションタスク概要

Microsoft Hyper-Vのインストールは次の手順で構成されます。

HX データ プラットフォーム インストーラの展開

Microsoft Hyper-V Manager を使用して HX Data Platform インストーラ 展開し、HX データ プ ラットフォーム インストーラ仮想マシンを作成します。

手順

ステップ1 Cisco ソフトウェアダウンロードサイトから HX Data Platform インストーラ.vhdx zip 圧縮ファ イルを検索してダウンロードします (例:

 ${\tt Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v4.0.1b-33133-hyperv.vhdx.zip)}$

- ステップ2 ローカル コンピュータに zip 圧縮フォルダを解答し、.vhdx ファイルを HX データ プラット フォーム インストーラをホストする Hyper-V ホストにコピーします。例: \\hyp-v-host01\....\HX-Installer\Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v4.0.1b-33133-hyperv.vhdx
- ステップ3 Hyper-V Manager で、Hyper-V サーバのいずれかに移動します。
- ステップ4 Hyper-Vサーバを選択し、右クリックして、[新規>仮想マシンを作成]を選択します。Hyper-V Manager 新規仮想マシン ウィザードが表示されます。

I

					Hyper-V Mar	nager
ile Action View Help						
Hyper-V Manager	Virtual M	lachines				
New	+	Virtual Machine	CPU Usage	Assigned Memory	Uptime	Status
Import Virtual Mach Hyper-V Settings Virtual Switch Mana Virtual SAN Manage	ger	Hard Disk Floppy Disk		No virtual machin	es were found on t	his server.
Edit Disk Inspect Disk						
Stop Service Remove Server Refresh						
View	•					
Help	i	nts				
Нер				No virtua	al machine selected	ł.

ステップ5 [始める前に]ページで、[次へ]をクリックします。

🖳 New Virtual Machine Wiz	ard	×
Before You	Begin	
Before You Begin Specify Name and Location Specify Generation Assign Memory Configure Networking Connect Virtual Hard Disk Installation Options Summary	This wizard helps you create a virtual machine. You can use virtual machines in place of physical computers for a variety of uses. You can use this wizard to configure the virtual machine now, and you can change the configuration later using Hyper-V Manager. To create a virtual machine, do one of the following: • Click Finish to create a virtual machine that is configured with default values. • Click Next to create a virtual machine with a custom configuration.	
	< Previous Next > Finish Cancel	

- **ステップ6** [名前とロケーションの指定]ページで、仮想マシン設定ファイルを保存する仮想マシンの名前 とロケーションを入力します。[Next] をクリックします。
 - (注) 最適なのは、VMを .vhdx ファイルに保管することです。



ステップ7 [世代の指定] ページで [第1世代] を選択します。[次へ (Next)] をクリックします。第二世代を 選択する場合、VM が起動しない可能性があります。

🖳 New Virtual Machine Wiza	ard X
🐸 Specify Gen	eration
Before You Begin Specify Name and Location Specify Generation Assign Memory Configure Networking Connect Virtual Hard Disk Installation Options Summary	 Choose the generation of this virtual machine. In this virtual machine generation supports 32-bit and 64-bit guest operating systems and provides virtual hardware which has been available in all previous versions of Hyper-V. Generation 2 This virtual machine generation provides support for newer virtualization features, has UEFI-based firmware, and requires a supported 64-bit guest operating system. Ince a virtual machine has been created, you cannot change its generation.
	More about virtual machine generation support
	< Previous Next > Finish Cancel

ステップ8 [メモリの割り当て]ページで、起動時のメモリの値を 4096 MB に設定します。[次へ (Next)] をクリックします。

🖳 New Virtual Machine Wizar	d	×
🖳 Assign Memo	pry	
Before You Begin Specify Name and Location Specify Generation Assign Memory Configure Networking Connect Virtual Hard Disk Installation Options Summary	Specify the amount of memory to allocate to this virtual machine. You can specify an amount from 32 MB through 12582912 MB. To improve performance, specify more than the minimum amount recommended for the operating system. Startup memory: 8192 MB ✓ Use Dynamic Memory for this virtual machine. (1) When you decide how much memory to assign to a virtual machine, consider how you intend to use the virtual machine and the operating system that it will run.	
	< Previous Next > Finish Cancel	

ステップ9 [ネットワーキング設定]ページで、既存の仮想スイッチのリストからを使用する仮想マシンの ネットワーク接続を選択します。[次へ(Next)]をクリックします。

New Virtual Machine Wizard Configure N	letworking	×
Before You Begin Specify Name and Location Specify Generation Assign Memory Configure Networking Connect Virtual Hard Disk Installation Options Summary	Each new virtual machine includes a network adapter. You can configure the network adapter to uvirtual switch. or it can remain disconnected. Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch Connection: External Switch	.se a

ステップ10 [仮想ハードディスクの接続]ページで[既存の仮想ハードディスクを使用する]を選択し、.vhdx ファイルが含まれる Hyper-V ホストでフォルダを参照します。[次へ(Next)]をクリックしま す。

I

b	New Virtual Machine Wizard
Connect Vir	tual Hard Disk
Before You Begin Specify Name and Location Specify Generation Assign Memory Configure Networking Connect Virtual Hard Disk Summary	A virtual machine requires storage so that you can install an operating system. You can specify the storage now or configure it later by modifying the virtual machine's properties. Create a virtual hard disk Use this option to create a VHDX dynamically expanding virtual hard disk. Name: HX-Installer.vhdx Location: C:\ClusterStorage\volume1\/hx-installer\/HX-Installer\Virtual Hard Die Browse Size: 127 GB (Maximum: 64 TB) Vise an existing virtual hard disk Use this option to attach an existing virtual hard disk, either VHD or VHDX format. Location: [::\ClusterStorage\volume1\/hx-installer\cisco-hx-data-platform-inst] Browse Attach a virtual hard disk later Use this option to skip this step now and attach an existing virtual hard disk later.
	< Previous Next > Finish Cance

ステップ11 [概要]ページで、表示されるオプションのリストが正しいことを確認します。[終了(Finish)] をクリックします。

🖳 New Virtual Machine Wiza	rd ×
Completing	the New Virtual Machine Wizard
Before You Begin Specify Name and Location Specify Generation	You have successfully completed the New Virtual Machine Wizard. You are about to create the following virtual machine. Description:
Assign Memory Configure Networking Connect Virtual Hard Disk	Name: HX-Installer Generation: Generation 1 Memory: 8192 MB Network: newprivate
Summary	Hard Disk: C:\Users\Administrator.WIN-5RKBSHE0CFP\Desktop\ztemp\build\Cisco+HX-Data-Platfori
	< >>
	To create the virtual machine and close the wizard, click Finish.

- ステップ12 VMの作成後は、電源を入れてGUIを起動します。
 - a) VM を右クリックして [接続] を選択します。
 - b) [**アクション**> 開始(Ctrl + S)]を選択します。
 - c) VM を起動したら、URL (VM の IP アドレス)をメモします。インストール時に以下の手 順に含まれるこの情報が必要です。

< Previous

Finish

£

Cancel

HX Data Platform インストーラでのスタティック IP アドレスの設定

VM のデフォルトのインストールでは、HX インストーラが DHCP を使用して IP アドレスを自 動的に取得します。起動するたびに同じIPアドレスが設定されるようにするため、VMに静的 IP アドレスを割り当てることができます。

静的 IP アドレスを使用してネットワーク インターフェイス(/etc/network/interfaces)を構成す るには、次のコマンドを使用します。ネットワークに合わせて関連する設定を変更してくださ い。



(注) ネットワークのガイドラインは次のとおりです。

- Active Directory (AD) に接続できる必要があります。
- Windows インストール用に Hyper-V インストーラから Hyper-V ホストに OS メディアをス トリーミングするには、ネットワークを使用します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	次のコマンドを実行します。 ifdown eth0 .	警告 この手順により、静的 IP 設定 を実行する前にインターフェ イスがダウンしていることを 確認します。そうしないと、 インストールプロセス中に TAC のサポートが必要になる 問題が発生する可能性があり ます。
ステップ2	お気に入りのエディタを使用して、環境 に合わせて /etc/network/eth0.interface ファイルを編集します。たとえば、次の 行をファイルに追加します。	<pre>auto eth0 # eth0 interface iface eth0 inet static # configures static IP for the eth0 interface metric 100 address XX.XX.XX # Static IP address fr the installer VM netmask 255.255.0.0 # netmask for the Static IP address gateway XX.XX.XX # gateway for the Static IP address dns-nameservers XX.XX.XX.#DNS name servers used by the HX installer dns-search <dns_search_name>.local # DNS search domain name used by the installer</dns_search_name></pre>
ステップ3	変更を反映するため、ファイルを保存し ます。	
ステップ4	次のコマンドを実行します。ifup eth0.	
ステップ5	インストーラ VM を再起動します。	

Hyper-V クラスタの展開

Cisco HX Data Platform のインストーラをダウンロードして展開したら、次の手順を実行して Hyper-V クラスタを展開します。この手順の一部として、次のサブタスクも実行します。

・Cisco UCS Manager の設定

- Hyper-V のインストール
- Windows OS のインストール
- •初期のクラスタの作成

始める前に

Hyper-V クラスタを展開する前に、Windows 2016 Datacenter Edition の ISO または Windows Server 2019 Datacenter-Desktop Experience ISO が使用可能であることを確認してください。

手順

- ステップ1 HX Data Platform のインストーラを起動してログインします。
- **ステップ2** [ワークフローの選択 (Select a Workflow)] 画面で、[HyperFlex (FI) によるクラスタ作成 (Cluster Creation with HyperFlex (FI))]をクリックし、UCS Manager に関する情報、ドメイン 情報、およびハイパーバイザのクレデンシャルを入力します。

フィールド	説明	値の例
[UCS Manager Credentials]		
UCS Manager Host Name	UCS Manager の FQDN または IP アドレス。	eng.fi356.abc.com
UCS Manager User Name	UCS Manager の管理権限を持 つ管理者またはユーザーの名 前。	admin
Password	UCS Manager のパスワード。	Xyz\$1234
ドメイン情報		
ドメイン名(Domain Name)	HyperFlex クラスタの Active Directory ドメイン名。	contoso.com

I

フィールド	説明	値の例
HX サービスアカウント	プレインストールフェーズで 作成された HX サービス アカ ウント。 HX サービスアカウントには、 クラスタに使用される組織単 位への完全なアクセス権が必 要です。 (注) Active Directory ポリ シーによって、HX サービス アカウント が、smb名前空間用に 作成されたコン ピュータ オブジェク トでの 「servicePrincipalName の書き込み」の有効 な権限を持つことを 確認してください。	hxadmin
[パスワード (Password)]	HX サービス アカウントのパ スワード。	Cisco 123
制限された委任		
[HXサービスアカウント(HX Service Account)]	制約付き委任 (Constrained Delegation) に必要です。ユー ザはドメイン管理者である必 要があります。	sphxadmin
[パスワード (Password)]	HX サービス アカウントのパ スワード。	
制約付き委任 (Constrained Delegation) を今すぐ設定する か、または制約付き委任 (Constrained Delegation) を後か ら設定します	次のいずれかのチェックボッ クスを選択します。 制約付き委任 (Constrained Delegation) は、VM ライブ マ イグレーションに必要です。	

次のスクリーンショットを参照して、このページのフィールドに入力してください。

isco	HyperFlex Installer				0	0	0	• •
	Credentials	Server Selection	UCSM Configuration	Hypervisor Configuration	IP Addresses		Cluster Conf	figuration
UCS UCS I	Manager Credentials Manager Host Name g-fi62.eng.storvisor.com	UCS Manager User admin	Name	Password ∲ ⊘	Conf	iguration		*
Domi Domi cla HX Se Spi	nain Information ain Name ain Name aud.local aud.locad	DNS Server(s) 10.64.16.91 Password on now (recommended) Password Password	⊕ ⊗ Configure	e Constrained Delegation later		Drag configurat	g and drop tion files here o	м
V Ac Domi	dvanced Attributes (option ain Controller ③ 64.16.91	Organization Unit	⊙ nodes,OU=sħypalak,OU=			Seb	ect a File	
						Back	Cont	tinue

HX Data Platform のインストーラは、UCS Manager に接続し、HX クラスタの関連するサーバ を取得して一覧表示します。また、HX Data Platform のインストーラは、UCS ファームウェア を検証します。

[続行 (Continue)]をクリックします。

- ステップ3 [サーバの選択 (Server Selection)] ページの [関連あり (Associated)] タブと [関連なし (Unassociated)] タブで、すべての関連付けられているサーバと関連付けられていないサーバ をそれぞれ確認します。
 - [関連なし(Unassociated)]タブでは、既存のクラスタに任意のノードを追加できます。

[関連あり(Associated)]タブでは、既存のクラスタからサーバの関連付けを解除できます。

次のスクリーンショットを参照して、このページのフィールドに入力してください。

cisco	•	Hyper	rFlex Installer	а.					0	0	0	0	0
		Credential	5	Server Selection	UCSM Conf	iguration	Hypervisor Configur	ation	IP Addresses		Cluster	Configuratic	on
s	ervei	r Selecti	ion			Confi	gure Server Ports	Refresh	Conf	iguration			*
r a	нх	for Hyper	r-V only runs on M5	servers. The list below	is restricted to M5 ser	vers.			Crede	ntials			
L	Una	ssociated	(1) Associated	(23) Status	Model	Serial	Assoc State	Actions	UCS M	anager Host M	lame eng-f i	62.eng.stor	visor.c om
	-	Ŧ							UCS M	anager User M	lame	- 1	ədmin
		0	Server 16	unassociated	HX220C-M55X	WZP22130EN7	none	none	Domai	in Name		clou	d.local
									HX Ser	vice Account		sphx	admin
									Constr	ained Delegat	ion		true
									Domai	n Administrat	or User Nam	e spi	cduser
									Time Z	lone	Paci	fic Standare	d Time
									DNS S	erver(s)		10.64	1,16.91
									Domai	n Controller		10.64	1,16.91
									Organi	ization Unit C	U=hyperflex ak,OU=test,D	nodes,OU+ C=cloud,DC	shypa C=local
									Local A	Mministrator	User Name	Adminis	strator
										(Back		ontinue	

[続行(Continue)]をクリックします。

- ステップ4 [UCSMの設定 (UCSM Configuration)] ページで、次のガイダンスに従って、VLAN 設定、MAC プール、および Cisco IMC アクセス管理(アウトオブバンドまたはインバンド)のサブセク ションに入力します。
 - a) [VLANの設定(VLAN Configuration)]:4つ以上のVLANが必要です。また、各VLANは 異なる IP サブネット上にあり、ファブリックインターコネクトから接続しているアップ リンクスイッチまで拡張されている必要があります。これにより、プライマリファブリッ クインターコネクト(ファブリックA)から下位のファブリックインターコネクト(ファ ブリック B) にトラフィックを確実に転送できるようになります。

この画面に値を入力するには、次の表と図を参考にしてください。

VLAN 名の例	VLAN ID の例	使用方法
hx-inband-mgmt	10	Hyper-VおよびHyperFlex VM の管理
hx-storage-data	20	HyperFlex のストレージ トラ フィック
hx-livemigrate	30	Hyper-V ライブ マイグレー ション ネットワーク
vm-network	100,101	VM ゲスト ネットワーク

tent of hypervisor and hype	erFlex management	VLAN for HyperFlex storage	e traffic
VLAN Name	VLAN ID	VLAN Name	VLAN ID
hx-inband-mgmt		hx-storage-data	
VLAN for VM Live Migration		VLAN for VM Network	
VLAN Name	VLAN ID	VLAN Name	VLAN ID(s)

- (注) VLAN1を使用すると、分離レイヤ2によって問題が発生する可能性があります。
 vm-networkには、複数のVLANをカンマ区切りのリストとして追加できます。
- b) [MACプール (MAC Pool)]: 次の表と図を使用して、残りのネットワーク設定の指定を完 了します。
| フィールド | 説明 | 値の例 |
|--------------------------|---|--------------------|
| MAC プールのプレフィック
ス | HX クラスタの MAC アドレ
スプールは、HX のインス
トーラによって UCS Manager
で設定されます。MAC アド
レスプールがレイヤ 2 環境
の他の場所で使用されていな
いことを確認します。 | 00:25:b5:xx |
| IP ブロック | HyperFlex ノードのアウトオ
ブバンド管理に使用される IP
アドレスの範囲。 | 10.193.211.124-127 |
| サブネットマスク(Subnet
Mask) | アウトオブバンドネットワー
クのサブネット マスク。 | 255.255.0.0 |
| Gateway | アウトオブバンドネットワー
クのゲートウェイアドレス。 | 10.193.0.1 |

MAC Pool		
AC Pool Prefix		
00:25:85:		
hx-ext-mgmt' IP Pool for Out-of-ba	and CIMC	
hx-ext-mgmt' IP Pool for Out-of-ba	and CIMC Subnet Mask	Gateway

- ステップ5 外部ストレージを追加する場合は、次のガイダンスを使用します。
 - a) 以下のフィールドに記入して iSCSI ストレージ を設定します。

フィールド	説明
[iSCSIストレージの有効化] チェックボック ス	チェックボックスをオンにして iSCSI スト レージを設定します。
VLAN A 名(VLAN A Name)	プライマリファブリックインターコネクト (FI-A)で、iSCSI vNIC に関連付けらてい る VLAN の名前。

I

フィールド	説明
VLAN A ID	プライマリファブリックインターコネクト (FI-A)で、iSCSI vNIC に関連付けらてい る VLAN の ID。
VLAN B 名(VLAN B Name)	下位のファブリック インターコネクト (FI-B)で、iSCSI vNIC に関連付けらてい る VLAN の名前。
[VLAN B ID]	下位のファブリック インターコネクト (FI-A)で、iSCSI vNIC に関連付けらてい る VLAN の ID。

b) 以下のフィールドに記入して FC ストレージ を設定します。

フィールド	説明
[FC ストレージの有効化] チェックボックス	FC ストレージを有効にするには、チェック ボックスをオンにします、
[WWxN Pool]	WW ノード名および WW ポート名の両方を 含む WWN プール。それぞれのファブリッ クインターコネクトに対し、WWPNおよび WWNN用のWWxNプールが作成されます。
VSAN A 名(VSAN A Name)	プライマリファブリックインターコネクト (FI-A)の VSAN の名前。 デフオルト—hx-ext-storage-fc-a。
VSAN A ID	プライマリファブリックインターコネクト (FI-A)のネットワークに割り当てられた 一意の ID。 注意 UCS または Hyperflex システムで 現在使用されている VSAN IDを入 力しないでください。UCS ゾーニ ングを使用してインストーラで既 存の VSAN ID を入力する場合、 ゾーニングは VSAN ID の既存の環 境で無効になります。
[VSAN B Name]	下位のファブリック インターコネクト (FI-B)の VSAN の名前。 デフオルト—hx-ext-storage-fc-b.

I

フィールド	説明
VSAN B ID	下位のファブリック インターコネクト (FI-B)のネットワークに割り当てられた 一意の ID。
	注意 UCS または Hyperflex システムで 現在使用されている VSAN ID を入 力しないでください。UCS ゾーニ ングを使用してインストーラで既 存の VSAN ID を入力する場合、 ゾーニングは VSAN ID の既存の環 境で無効になります。

ステップ6 [ハイパーバイザの設定(Hypervisor Configuration)]ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明	値の例	
[ベアメタルの設定(Bare metal configuration)]			
[ハイパーバイザ (HYPER-V) のインストール (Install Hypervisor (Hyper-V))]	デフォルトでは、ベア メタル ノードへの Windows OS のイン ストール用に [ハイパーバイザ (Hyper-V) のインストール (Install Hypervisor (Hyper-V))]チェックボックスが選択され ています。[参照 (Browse)]をクリックし、ISO ファイルを 選択してアップロードします。または、ISO ファイルをその エリアにドラッグ アンド ドロップします。		
[インストールするオペレー ティングシステムの選択 (Select the operating system you want to install)]	 次のいずれかのオペレーティング システムをインストールできます。 Windows Server 2016 Datacenter (デスクトップ エクスペリエンス) Windows Server 2016 Datacenter (CORE) Windows Server 2019 Datacenter (デスクトップ エクスペリエンス) 		
共通ハイパーバイザ設定を行う			
Subnet Mask	ハイパーバイザ ホスト管理 ネットワークのサブネット マ スク	255.255.255.0	
Gateway	ハイパーバイザ ホスト管理 ネットワークのデフォルト ゲートウェイ	10.101.251.1	

フィールド	説明	値の例
DNS サーバ	ハイパーバイザ ホストがメン バーを外れる AD の DNS サー バのカンマ区切りリスト。	10.99.2.200,10.992.201
Hypervisor Settings		
スタティック IP アドレス	 各ホストの管理 IP アドレス (注) チェックボックス [IP アドレスとホスト名を連続させる] のチェックをオンのままにする場合、インストーラが残りのサーバを最初から連続的に自動入力します。 	10.101.251.41
Hostname	各ホストのホスト名	HX-Hypv-01

[続行 (Continue)]をクリックします。

ステップ7 HX Data Platform の展開

フィールド	説明	値の例
ドメイン情報		
ドメイン名(Domain Name)	クラスタが含まれる Active Directory ドメイン。	contoso.com
HX サービスアカウント	 プレインストールフェーズで 作成された HX サービス アカ ウント。 重要 Active Directory ポリ シーによって、HX サービス アカウント が、smb 名前空間用に 作成されたコンピュー タオブジェクトでの 「servicePrincipalNam の書き込み」の有効な 権限を持つことを確認 してください。 	hxadmin e

フィールド	説明	値の例
[パスワード (Password)]	HX サービス アカウントのパ スワード。	
制限された委任		
HX サービス アカウントとパ スワード	制約付き委任 (Constrained Delegation) に必要です。	
HX サービス アカウントを使 用します。	制約付き委任に HX サービス アカウントを使用します。 ユーザは、ドメイン管理者で ある必要があります。	HX サービス アカウントが提 供されている場合は、チェッ クボックスをクリックしま す。
制約付き委任 (Constrained Delegation) を今すぐ設定する か、または制約付き委任 (Constrained Delegation) を後か ら設定します	次のいずれかのチェックボッ クスを選択します。 制約付き委任 (Constrained Delegation) は、VM ライブマ イグレーションに必要です。 制約付き委任を後で設定する には、ライブ移行と VM ネッ トワークの静的 IP アドレスの 設定 (44 ページ) で説明し ている手順を使用します。	
高度な属性(Advanced Attribu	tes) (オプション)	
ドメイン コントローラ	インストールに具体的に使用 するドメイン コントローラの FQDN。	dc.contoso.com
Organization Unit	インストール前の段階で作成 した OU をここで使用できま す。その後、OU は Active Directory 内の HX ノードの ホームになります。	OU = HyperFlex, DC = contoso, DC = com
ハイハーハイサのクレテンシャル		

フィールド 説明		値の例
[ハイパーバイザローカル管理 Hyper 者ユーザ名(Hypervisor Local 管理 Administrator User Name)]	-V ホスト上のローカル 皆ユーザ名。	 デフォルトのユーザ名/パス ワード: administrator/Cisco123 重要 システムは、デフォ ルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変 更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを 続行できません。

[Continue] をクリックします。

ステップ8 [IPアドレス (IP Addresses)]ページで、次の表を使用して、このページのフィールドに入力します。

フィールド	説明	値の例	
Cisco HX Cluster			
クラスタ名(SMBアクセスポ イント)	データストアの FQDN として 使用するクラスタ名。	HX-EAP-01	
レプリケーション ファクタ	HX ストレージクラスタ間で の冗長データレプリカの数を 選択します。オプションは、2 または3です。これは、クラ スタの作成後は変更できませ ん。稼働ワークロードには3 を推奨します。	3(デフォルト値)	
フェールオーバークラスタ名	Windows フェールオーバー ク ラスタのための名前。		
Controller VM			
Create Admin Password			
[管理者パスワードの確認 (Confirm Administrator Password)]			
System Services			

I

フィールド	説明	値の例
DNS サーバ	DNS サーバのカンマ区切りリ スト。	10.99.2.200、10.99.2.201
NTP サーバ (NTP Servers)	コントローラ VM は Windows Active Directory と同期してい る必要があるため、時間同期 用の AD ドメイン コントロー ラを指す必要があります。	dc1.contoso.com, dc2.contoso.com
DNS ドメイン名(DNS Domain Name)	Active Directory のドメイン 名。	contoso.com
タイムゾーン(Timezone)	HXコントローラがレポートで 使用するタイムゾーン。	
自動サポート		
コネクテッドサービスの有効 化	Cisco Support への HX クラス タのテレメトリ データの出荷 の自動サポート。	
サービスチケットの送信先	シスコに送信されたチケット のコピーを受信する電子メー ルアドレスまたはエイリア ス。	email_address
高度なネットワーキング		
管理VLANタグ	管理ネットワークに使用され る VLAN ID。これは、前の管 理ネットワークのインストー ル プロセスで使用したものと 同じである必要があります。	
データ VLAN タグ	管理ネットワークに使用され る VLAN。これは、前のデー タ ネットワークのインストー ル プロセスで使用したものと 同じである必要があります。	
局度な設定		

フィールド	説明	値の例
データ ネットワーク上でジャ ンボ フレームの有効化	ホスト vSwitch と vNIC、およ び各ストレージコントローラ VM のストレージデータネッ トワークの MTU サイズを設定 します。デフォルト値は 9000 です。 ジャンボ フレームがストレー ジ VM に接続されたリンク上 で動作していることを確認し	
	てください。	
ディスク パーティション	ストレージクラスタに追加さ れたすべてのノードから既存 のデータおよびパーティショ ンをすべて削除します。保持 する必要があるデータは、 バックアップする必要があり ます。既存のデータおよび パーティションを削除するに は、このオプションを選択し ます。	
	これは、手動で準備された サーバ用です。工場で準備さ れたシステムにはこのオプ ションを選択しないでくださ い。工場で準備されたシステ ムのディスク パーティション は正しく設定されています。	
[VDI]	VDI のみの環境を設定しま す。ストレージクラスタの作 成後に VDI 設定を変更するに は、リソースをシャットダウ ンまたは移動し、変更を加 え、クラスタを再起動しま す。	
Hypervisor Settings	1	
プライマリDNSサフィックス	インストール前の手順で完了 します。	

フィールド	説明	値の例
追加の DNS サフィックス	Hyper-V ホストにサフィック スを追加する必要がある場合 は、このフィールドに入力し ます。	

このページの各フィールドの入力例として、下の図を参照してください。

(Juster Name (SMB Access Point)	Peolication Easter	Enderson Churter Manua	for the state
hu ere 61	(3 ¢) ()		Credentials
nx-eap-01		HX-EAP-CLU01	Domain Name Ciscolab.d
			HX Service Account hxadmi
Controller VM			Time Zone Romance Standard Tim
	010/00/01/11/11		Local Administrator User Name Administrato
reate Admin Password	Confirm Admin Password		IP Addresses
••••••		•	Cluster Name (SMB Access Point) hx-eap-0
			Management Cluster HX-EAP-01-MGN
System Services			Data Cluster 10.101.252.5
			Management Subnet Mask 255.255.255
INS Server(s)	NTP Server(s)	DNS Domain Name	Data Subnet Mask 255.255.255
10.99.2.200,10.99.2.201	Ciscolab.dk	ciscolab.dk	Management Gateway 10.101.251
lime Zone			Data Gateway 10.101.252.
(UTC+01:00) Brussels, Copenhagen, Madrid	d, Paris 🗣 🕔		Server 0
			Management Hypervisor HX-EAP-1.Ciscolab.c
Auto Support			Management Storage HX-EAP- Controller CNTLCiscolab.c
Auto Support	Send service ticket notifications to		Data Hypervisor 10.101.252.4
Enable Connected Services (Recommended)	lagranbe@cisco.com		Data Storage Controller 10.101.252.5
			Server 1
			Management Hypervisor HX-EAP-2.Ciscolab.c
Advanced Networking			Management Storage HX-EAP-
Aanagement VLAN Tag	Management vSwitch		Controller CNTL.Ciscolab.c
2996	vswitch-hx-inband-mgmt		Data Hypervisor 10.101.252.4
			Data Storage Controller 10.101.252.5
ata VLAN Tag	Data vswitch		Server 2
2997	vswitch-hx-storage-data		Management Hypervisor HX-EAP-3.Ciscolab.c
			Manazement Storage HX-EAP-
Advanced Configuration			K Back Start
umbo Frames	Disk Partitions	Virtual Desktop (VDI)	

ステップ9 [Start] をクリックして、導入を開始します。[進行状況 (Progress)] ページには、構成タスクの 進行状況が表示されます。開始、展開の検証、展開、検証の作成、クラスタの作成。

Start Deploy Validation	Deploy	Create Validation	Cluster Creation
Cluster Creation in Progress			
Cluster Creation - Overall In Progress		Cluster Creation	\$
hx-eap-01 In Progress	 ZK ensemble Hx:Cluster ZK ensemble Init Management Service Hx:Cluster Init Management Service 		
	Storage HxCluster Storage HxCluster		

ベスト プラクティス

Microsoft Hyper-V インストールを使用した Cisco HyperFlex の一般的なベスト プラクティスを 次に示します。

- Cisco HyperFlex に関しては、Windows システムの更新をアウトオブバンドで実行しないで ください。
- Windows Update (WU)の動作を設定するためにグループポリシー設定を使用している場合は、Cisco HyperFlex によって設定されたデフォルト設定を上書きしないようにしてください。更新を自動的にダウンロードし、スケジュールにインストールするように指定するポリシーを設定しないでください。



 (注) デフォルトでは、Cisco HyperFlex は自動更新を無効にします。AU オプションの値は2に設定されています:ダウンロードとインス トールの通知。Windows update の設定の詳細については、
 「Windows 更新設定の管理」を参照してください。



インストール後

- •インストール後のタスクの概要 (41ページ)
- •インストール後の VLAN の追加 (66 ページ)

インストール後のタスクの概要

クラスタの設定が正常に完了したら、次の追加のインストール後タスクを実行して、クラスタが VM に対応できる状態になっていることを確認します。

タスク	参照先
最初のデータストアの作成	最初のデータストアを作成する(42ページ)
ライブ移行と VM ネットワークの静的 IPアド レスを割り当てます	ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アド レスの設定 (44 ページ)
(オプション)制限された委任	(任意)インストール後の制約付き委任(44 ページ)
ローカルのデフォルト パスの設定	ローカルのデフォルト パスを設定する (45 ページ)
ファイル共有補助の設定	ファイル共有ウィットネスの構成 (46 ペー ジ)
Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認	Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認 (53 ページ)
フェールオーバークラスタマネージャの検証	
Hyper-V クラスタへの VM の展開	Hyper-V クラスタへの VM の展開 (55 ペー ジ)
SCVMM への HyperFlex 共有の設定	SCVMM への HyperFlex 共有の設定 (62 ページ)

タスク	参照先
Windows Defender の再有効化	Windows Defender の再有効化 (65 ページ)
スタンドアロン Hyper-v ホストと HX Hyper-v ホスト間の VM 移行。	ホスト間の VM の移行 (65 ページ)

最初のデータストアを作成する

クラスタの使用を開始する前に、データストアを作成する必要があります。データストアは、 HX Connect UI で作成できます。

手順

ステップ1 https://Cluster_IP/またはhttps://FQDNの任意のブラウザからHX Connect UI を起動します。

Cisco HyperFlex Connect ×		
O A Not Secure https://hx-eap-01-mgmt.cisco	ab.dk/#/clusters/1	*
	ahaha	
	CISCO	
	Cisco HyperFlex Connect	
	and the second	
	HyperElex	
	HyperFlex	
	<u>3.0(1a)</u>	
	1 ISER NAME	
	PASSWORD ©	
	Legis	

- ステップ2 次のクレデンシャルでログインします。
 - ・ユーザ名—hxadmin
 - ・パスワード---クラスタのインストール中に設定されたパスワードを使用します。



ステップ3 [ナビゲーション (Navigation)] ペインで、[データストア(Datastores)] を選択します。

ステップ4 [作業 (Work)] ペインで [スケジュールの作成 (Create Schedule)] をクリックします。

ステップ5 [VSAN の作成 (Create VSAN)] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
Datastore Name	データストアの名前を入力します。
	Ciscoでは、データストア名にすべて小文字を 使用することを推奨しています。
Size	データストアのサイズを指定します。
ブロック サイズ	データストアのブロックサイズを選択します。

(注) Ciscoでは、最高のパフォーマンスを保証するために、8Kのブロックサイズとできる だけ少ないデータストアを推奨しています。

ライブ移行とVM ネットワークの静的 IP アドレスの設定

各 Hyper-V ノードにログインし、Power Shell で次のコマンドを実行して、ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アドレスを割り当てます。

#	コマンド	目的
1	New-NetIPAddress -ifAlias "vSwitch-hx-livemigration" -IPAddress 192.168.73.21 -PrefixLength 24	静的IPアドレスをライブ移行 ネットワークに割り当てま す。
2	New-NetIPAddress -ifAlias "vswitch-hx-vm-network" -IPAddress 192.168.74.21 -PrefixLength 24	静的 IP アドレスを VM ネット ワークに割り当てます。

(任意) インストール後の制約付き委任

1

注目 この手順は、初期インストール時に制約付き委任を設定していない場合にのみ実行する必要が あります。この手順は、インストール後ではなく、HX のインストーラを使用して実行するこ とをお勧めします。

制限付き委任により、偽装をきめ細かく制御できます。リモート管理要求がHyper-Vホストに 行われたら、発信者の代理としてストレージにそれらの要求を行う必要があります。そのホス トが HX ストレージの CIFS サービス信条について、委任の信頼できる場合許可されます。

制限付き委任では、セキュリティ設定の [User Account Control: Behavior of the elevation prompt for Administrators in Admin Approval Mode] が [Elevate without Prompting] に設定されている必要 があります。これにより、グローバルの AD ポリシーで HX OU のポリシーのオーバーライド できなくなります。

HX クラスタの各 Hyper-Vホストで次の手順を実行して、Windowsの [Active Directoryユーザー とコンピュータ (Active Directory Users and Computers)]を使用して設定してください。

手順

- ステップ1 [開始]をクリックして[管理ツール]をクリックし、[アクティブ ディレクトリ ユーザおよびコ ンピュータ]をクリックします。
- ステップ2 ドメインを展開し、コンピュータフォルダを展開します。
- **ステップ3**右のウィンドウでコンピュータ名(たとえば、HX-プロパティ)を右クリックし[プロパティ] をクリックします。
- ステップ4 [委任] タブをクリックします。
- ステップ5 [指定されたサービスの委任にのみこのコンピュータを信頼する]を選択します。
- ステップ6 [任意の認証プロトコルを使用する] が選択されていることを確認します。

ステップ7 [Add] をクリックします。[Add Services (サービスの追加)] ダイアログ ボックスで、[Users or Computers (ユーザーまたはコンピュータ)] をクリックし、サービス タイプの名前を参照する か入力します (CIFS など)。[OK] をクリックします。次の図は、例として使用できます。

	Н	X-EAP-1 P	roperties		? X
Location	Managed By	Object	Security	Dial-in	Attribute Editor
General	Operating System	Member Of	Delegati	on Pass	word Replication
Delegation is behalf of an	s a security-sensitive other user.	operation, wh	ich allows ser	vices to act	on
O Do not tr	ust this computer for	delegation			
O Trust this	s computer for delega	ation to any se	rvice (Kerberd	os only)	
Trust this	s computer for delega	ation to specifi	ed services or	nly	
O Use	Kerberos only				
Use	any authentication p	rotocol			
Services	s to which this accou	unt can presen	t delegated c	redentials:	
Servic	e Type User or C	omputer	Port	Service	e Ni
cifs	hx-eap-01	I.Ciscolab.dk			
cifs	HX-EAP-	1			
5		1			>
		<u> </u>			
	anded		Add	Remove	
	C	Ж	Cancel	Apply	Help

ステップ8 すべてのノードに対してこれらの手順を繰り返します。

ローカルのデフォルトパスを設定する

VMのデフォルトローカルパスを設定して、VMがHXクラスタデータストアに確実に格納されるようにします。

PowerShell で次のコマンドを実行してください。

\$Creds = Get-Credential -Message "User Credentials" -UserName <<current logon username>>
\$hosts = ("hostname1","hostname2","hostname3","hostname4")
Invoke-Command -ComputerName \$hosts -Credential \$Creds -ScriptBlock {Set-VMHost

	-VirtualHardDiskPath "\\HX-EAP-01.ciscolab.dk\DS1_8K" -VirtualMachinePath "\\HX-EAP-01.ciscolab.dk\DS1_8K"}
(注)	ユーザ名は、ドメイン管理者アカウントまたはHXサービスアカウントのいずれかにする必要 があります。Hyper-Vホストのローカル管理者は機能しません。
(注)	環境に適合するように変数を変更することを忘れないでください。

ファイル共有ウィットネスの構成

Microsoft のベストプラクティスとして、クォーラムウィットネスデータストアを構成するこ とを確認してください。フェールオーバークラスタマネージャ (FCM) を使用してファイル共 有ウィットネス機能を構成するには、次の手順を実行します。ファイル共有監視は、ネット ワーク上のノードで障害が発生した場合に、フェールオーバクラスタのハイアベイラビリティ を保証します。具体的には、フェールオーバクラスタクォーラムを維持するためにファイル 共有監視が必要になります。これは、ネットワーク内のパーティションとノードのサブセット が相互に通信できない場合に発生する可能性のあるスプリットブレインシナリオを回避する ように設計されています。詳細については、「クラスタとプールのクォーラムについて」を参 照してください。

(注) HX クラスタでは、ストレージは可用性が高く、ホストがストレージにアクセスできなくなるように設計されています。1個のホストがデータストアへの書き込みを停止した場合、Microsoftのストレージ復元動作が開始されます。ホストは、デフォルトで 30 分間、ストレージとの接続確立を繰り返し再試行します。この間、ユーザーVM は一時停止する可能性があります。30分後に接続できない場合、VM は「停止」状態に移行します。

次の手順では、Microsoft Windows 2016のファイル共有監視を設定する方法について説明しま す。Microsoft Windows 2019を導入する場合は、HyperFlex 共有または他のファイル共有を監視 として使用しないでください。Microsoft は、今後のパッチ リリースで解決される Windows 2019の不具合を特定しました。それまで、監視を行わずに Microsoft Windows 2019 フェール オーバクラスタを設定する必要があります。

(注)

- ファイル共有監視として Microsoft Windows 2019 および計画を使用してファイル共有 (HX 共有を含む)を使用する場合は、設定する前に https://support.microsoft.com/en-us/help/4497934 パッチをインストールする必要があります。
 - •ファイル共有をクォーラム監視として使用しない場合は、Microsoft Windows 2019 で説明 されている他のクォーラム方式を使用できます。

始める前に

Microsoft は、2019 年 11 月 12 日に Windows 2019 に適用されるセキュリティ パッチをリリー スしました。Windows 2019 を実行している場合、次の手順でファイル共有監視を設定する前 に、パス レベルでパッチを使用して Hyper-V ホストをアップグレードします。詳細について は、Microsoft の記事「November 12, 2019: KB4523205 (OS Build 17763.864)」を参照してくださ い。

手順

ステップ1 FCM を起動します。

ステップ2 ナビゲーションペインで、クラスタを選択します。次に、[Actions] ウィンドウで、[More Actions)] > [Configure Cluster Quorum Settings...]を選択します。。



ステップ3 [**クラスタ クォーラムの設定 (Configure Cluster Quorum**)] ウィザードが起動します。[次へ (Next)]をクリックします。

n Configure Cluster	Quorum Wizard	×
Before Yo	bu Begin	
Before You Begin Select Quorum Configuration Option Select Quorum Witness Confirmation Configure Cluster Quorum Settings Summary	This wizard guides you through configuring the quorum for your failover cluster. The relevant cluster elements are the nodes and, in some quorum configurations, a disk witness or file share witness. The quorum configuration affects the availability of your cluster. A sufficient number of cluster elements must be online, or the cluster Tosses quorum" and must stop running. Note that the full function of a cluster depends not only on the quorum, but also on the capacity of each node to support the clustered roles. Important: Run this wizard only if you have determined that you need to change the quorum configuration for your cluster. When you create a cluster, the cluster software automatically chooses a quorum configuration that will provide the highest availability for your cluster. To continue, click Next. Failover Obuster Quorum and Witness Configuration Options Do not show this page again	
	Next > Cancel]

ステップ4 [クォーラム設定オプションの選択 (Select Quorum Configuration Option)] 画面で、[クォーラム ウィットネスを選択する (Select the quorum witness)] を選択します。[次へ (Next)] をクリッ クします。

📲 Configure Cluste	er Quorum Wizard	×
Select Q	uorum Configuration Option	
Before You Begin	Select a quorum configuration for your cluster.	
Select Quorum Configuration Option	O Use default quorum configuration	
Select Quorum Witness	The cluster determines quorum management options, including the quorum witness.	
Confirmation	Select the quorum witness	
Configure Cluster Quorum Settings	You can add or change the quorum witness. The cluster determines the other quorum management options.	
Summary	O Advanced quorum configuration	
,	You determine the quorum management options, including the quorum witness.	
	Failover Cluster Quorum and Witness Configuration Options	
	< Previous Next > Cancel	

ステップ5 [クォーラム ウィットネスの選択 (Select Quorum Witness)] 画面で、[ファイル共有ウィットネ スの構成 (Configure a file share witness)] を選択します。[次へ (Next)] をクリックします。

I

Configure Cluste	er Quorum Wizard	×
Select Q	Quorum Witness	
Before You Begin Select Quorum Configuration Option	Select a quorum witness option to add or change the quorum witness for your cluster configuration. As a best practice, configure a quorum witness to help achieve the highest availability of the cluster.	
Select Quorum	○ Configure a disk witness	
Witness	Adds a quorum vote of the disk witness	
Configure File Share Witness Confirmation	Configure a file share witness Adds a quorum vote of the file share witness	
Configure Cluster Quorum Settings Summary	 Configure a cloud witness Adds a quorum vote of the cloud witness Do not configure a quorum witness 	
	Failover Cluster Quorum and Witness Configuration Options	
	< Previous Next > Cancel	

ステップ6 [ファイル共有ウィットネスの構成 (Configure File Share Witness)] 画面で、ファイル共有のパ スを指定します。[次へ (Next)]をクリックします。

I

Configure Cluster	Quorum Wizard	×
Configure	e File Share Witness	
Before You Begin Select Quorum Configuration Option	Please select a file share that will be used by the file share witness resource. This file share must not be hosted by this cluster. It can be made more available by hosting it on another cluster.	
Select Quorum Witness	File Share Path:	
Configure File Share Witness	\\HX-EAP-01.ciscolab.dk\DS1_8K Browse	
Confirmation		
Configure Cluster Quorum Settings		
Summary		
	< Previous Next > Cancel	

ステップ7 [確認 (Confirmation)] 画面で、[次へ (Next)] をクリックします。

Configure Cluster	r Quorum Wizard	×
Configure	e Cluster Quorum Settings	
Before You Begin	Please wait while the quorum settings are configured.	
Select Quorum Configuration Option		
Select Quorum Witness		
Configure File Share Witness		
Confirmation		
Configure Cluster Quorum Settings		
Summary		
		Cancel

ステップ8 [概要 (Summary)] 画面で、[完了 (Finish)] をクリックしてウィザードを閉じます。

- ステップ9 または、Windows PowerShell を使用してファイル共有監視を設定することもできます。
 - a) タイプSet-ClusterQuorum FileShareWitness <ファイル共有監視パス>
 - b) Set-ClusterQuorum FileShareWitness <ファイル共有ウィットネス パス>とタイプします
 - c) これで、クラスタ用に構成されたファイル共有ウィットネスが表示されます。ファイル共 有ウィットネス共有に移動すると、クラスタ用に作成されたフォルダが表示されます。

 Cluster Core Resources 			
Name	Status	Information	~
🗉 📆 Name: HX-EAP-CLU01	Online		
Cluster Infrastructure			
Svirtual Machine Cluster WMI	Online		
File Share Witness			
Bile Share Witness (\\HX-EAP-01.ciscolab.dk\DS1_8K)	Online		~
<			>

Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認

インストールされている Windows のバージョンを確認するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 管理者またはHX サービスの管理者アカウントとして Hyper-V サーバにログインします。
- ステップ2 PowerShell で次のコマンドを実行してください。

C:\Users\adminhyperflex> Get-ItemProperty 'HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion'

ステップ3 コマンド出力の結果で、インストールされている Windows のバージョンを確認します。

次に、Windows Server 2016 をインストールした場合の出力例を示します。

ProductName : Windows Server 2016 Datacenter ReleaseId : 1607 SoftwareType : System UBR : 447

次に、Windows Server 2019 をインストールした場合の出力例を示します。

ProductName : Windows Server 2019 Datacenter ReleaseId : 1809 SoftwareType : System UBR : 107

- ステップ4 さらに、次のことを確認します。
 - ・UBR#は1884より大きい値にする必要があります。それ以外の場合は、HyperVサーバを 最新の更新にアップグレードします。『*Microsoft* ナレッジベースの記事: *KB4467691*』を 参照してください。
 - スタンドアロンのHyperVマネージャーをHXノードの外部で使用している場合は、Hyper-V 管理サーバのバージョンUBR#が1884よりも大きい必要があります。バージョンが1884 以下の場合は、Hyper-V管理サーバをアップグレードする必要があります。

フェールオーバー クラスタ マネージャの検証

手順

ステップ1 フェールオーバー クラスタ マネージャを開き、[Validate cluster (クラスタの検証)] をクリック して、[Next (次へ)] をクリックします。

Witness: File Share Witness (\\HYPER4-SMB hx.local\chris_quorum)			^ Act	Actions	
			HY	PER4-FO.hx.local	
 Configure 			89	Configure Role	
Configure high availability for a specific clustered role, add one or more servers (nodes), or copy roles from a cluster running Windows Server 2016 or supported previous versions of Windows Server.			-	Validate Cluster	
Configure Role		Failover cluster topics on the Web	27	View Validation Report	
Waldate Quster			2	Add Node	
F Add Node			2	Close Connection	
Copy Quster Roles			Ð	Reset Recent Events	
P Quster-Aware Updating				More Actions	
				View	
 Navigate 			G	Refresh	
B Poler	Mades	Contract of the second s		Properties	
Networks	Custer Events	 300020 	2	Help	

ステップ2 [Run all tests (すべてのテストを実行)] (推奨) を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。

Validate a Config	Options ×
Before You Begin Testing Options Confirmation Validating Summary	Choose between running all tests or running selected tests. The tests examine the Cluster Configuration, Hyper-V Configuration, Inventory, Network, Storage, and System Configuration. Microsoft supports a cluster solution only if the complete configuration (servers, network, and storage) can pass all tests in this wizard. In addition, all hardware components in the cluster solution must be "Certified for Windows Server 2016." Run all tests (recommended) Run only tests I select
	More about cluster validation tests Previous Next > Cancel

[Next (次へ)] をクリックすると、検証手順が開始されます。

ステップ3 検証に失敗がないことを確認します。検証に失敗した場合は、[View Report (レポートの表示)] をクリックし、[Failed (失敗)]したと表示された結果に対処します。

🚺 Validatir	ng			
DC.				
ore You Begin	The following warmount of time	ralidation tests are running. Depending on the test select	tion, this may take a significa	nt
nfimation	Progress	Test	Result	^
	100%	List Environment Variables	The test passed.	
idating	100%	List Host Guardian Service client configuration	The test passed.	
mmary	100%	List Memory Information	The test passed.	
	100%	List Operating System Information	The test passed.	
	100%	List Plug and Play Devices	The test passed.	
	100%	List Running Processes	The test passed.	
	100%	List Services Information	The test passed.	
	0%	List Software Updates	Test is currently run	nii v
	<			>

Hyper-V クラスタへの VM の展開

次のように、Hyper-V クラスタでの VM の導入は、マルチ ステップ プロセスです。

- インストールリモートサーバの管理ツール(RSAT)管理ステーション/ホストで: Hyper-V Manager とサーバマネージャの機能との Failover Cluster Manager などの管理ツールをイン ストールする必要があります。詳細については、管理ステーションまたはホストへのRSAT ツールのインストール(55ページ)を参照してください。
- VMの管理: HX クラスタ内のすべての Hyper-V ノードへの接続と新しい VM の作成は、 Hyper-V Managerまたは Failover Cluster Manager を使用して実行できます。詳細については、Hyper-V Manager による VM の作成(60ページ)を参照してください。

管理ステーションまたはホストへの RSAT ツールのインストール

RSAT をインストールするには、次の手順を実行します。

始める前に

RSAT ツールのインストールには、次の必要があります。

- ・Hyper-VHX クラスタで VM をインストール、管理、モニターすることができるサーバ。
- Hyper-V Manager、FCM、PowerShell SCVMM などの管理者ツールです。

手順

ステップ1 サーバマネージャで、[Manage] をクリックして、[Add Roles and Features] を選択します。[Add Roles and Features] ウィザードが表示されます。

🖾 Server Manager		- 🗆 X
Server M	anager • Dashboard • 🗇 I	Manage Tools View Help Add Roles and Features
Dashboard Local Server	WELCOME TO SERVER MANAGER	Add Servers Create Server Group
All Servers	1 Configure this lo	Cal Se Server Manager Properties

ステップ2 [始める前に (Before you begin)] ページで、[次へ (Next)] をクリックします。



- ステップ3 [インストールタイプの選択 (Select installation type)] ページで、[役割ベースまたは機能ベー スのインストール (Role-based or feature-based installation)]を選択します。[次へ (Next)]を クリックします。
- ステップ4 [Server Selection] ページで、リストからサーバを選択します。このサーバは、HX クラスタと同じドメインに属します。[次へ(Next)]をクリックします。

Dashboard	WELCOME TO SERVER MANAGER
Local Server	
🛼 Add Roles and Features Wizard	- 🗆 ×
Select destination	SELAEL DESTINATION SERVER Honolulu HXHVDOM LOCAL
Before You Begin	Select a server or a virtual hard disk on which to install roles and features.
Installation Type	Select a server from the server pool
Server Selection	Select a virtual hard disk
Server Roles	Server Pool
Features	
	Filter
	Name IP Address Operating System
	Honolulu HXHVDOM LO 10.29.149.224 Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Evaluation
	1 Computer(s) found
	This page shows servers that are running Windows Server 2012 or a newer release of Windows Server,

- ステップ5 [Select Roles] ページで、[Next] をクリックします。
- ステップ6 [機能] ページでは、[Remote Server Administration Tools] > [Feature Administration Tools] > [Failover Clustering Tools]、および [Role Administration Tools] > [Hyper-V Management Tools] > [Failover Clustering Tools] を選択します。[次へ (Next)]をクリックします。



- **ステップ7** [Confirmation] ページで、[Install] をクリックします。[**Restart the destination server if required**] チェック ボックスはオフのままにします。
- **ステップ8** [Installation Progress] ページに、インストールの進行状況が表示されます。インストールが完 了したら、[Done] をクリックしてウィザードを閉じます。



Hyper-V Manager による VM の管理

Hyper-Vノードへの接続

Hyper-VHX クラスタ内のすべての Hyper-V ノードへの接続には、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [Server Manager] ダッシュ ボードを開き、[Tools] をクリックします。次に、 [HYPER-V Manager] をクリックします。[Hyper-V Manager] コンソールが表示されます。
- ステップ2 左側のペインで[Hyper-V Manager]を選択し、[Connect to Server...]をクリックしてください。
- ステップ3 [コンピュータの選択 (Select Computer)]ダイアログボックスで、[別のコンピュータ (Another computer)]を選択し、Hyper-Vクラスタに属するHyper-Vノードの名前 (「HXHV1」など)を 入力します。[OK] をクリックします。
- ステップ4 Hyper-VHX クラスタ内の各ノードについて上記の手順をすべて繰り返します。

(注) 新規インストールの場合は、ストレージョントローラ仮想マシン(StCt1VM)が、
 [Hyper-V Manager] コンソールの [Virtual Machines] ペインに表示される唯一の仮想マシンです。仮想マシンは、各ノードに追加されると、このペインの下のリストに表示されます。Hyper-Vマネージャを使用して VM を作成する方法の詳細については、次を参照してください: Hyper-V Manager による VM の作成(60ページ)

Hyper-V Manager による VM の作成

Hyper-V Manager を使用して VM を作成するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 Hyper-V Manager を開きます。
- ステップ2 Hyper-Vサーバを選択し、右クリックして、[新規>仮想マシンを作成]を選択します。Hyper-V Manager 新規仮想マシン ウィザードが表示されます。
- ステップ3 [始める前に]ページで、[次へ]をクリックします。
- **ステップ4** [名前とロケーションの指定(Specify Name and Location)]ページで、仮想マシン設定ファイル の名前を入力します。仮想マシンのロケーションを入力して、[Next] をクリックします。
- ステップ5 [Specify Generation] ページで、[Generation 1] または [Generation 2] のいずれかを選択します。
- **ステップ6** [メモリの割り当て(Assign Memory)] ページで、起動時のメモリの値を 2048 MB に設定しま す。[次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ7** [ネットワーキング設定]ページで、既存の仮想スイッチのリストからを使用する仮想マシンの ネットワーク接続を選択します。
- **ステップ8** [Connect Virtual Hard Disk] パネルで、[Create a Virtual Hard Disk] を選択し、仮想マシンの名前、ロケーション、およびサイズを入力します。[次へ(Next)]をクリックします。
- **ステップ9** [Installation Options] では、デフォルトで選択されている [Install an operating system later] を そのままにしておくことができます。[次へ (Next)] をクリックします。
- **ステップ10** [概要]ページで、表示されるオプションのリストが正しいことを確認します。[終了(Finish)] をクリックします。
- ステップ11 HYPER-V Manager では、仮想マシンを右クリックし、[Connect] をクリックします。
- ステップ12 [Virtual Machine Connection] ウィンドウで、[Action] > [Start] を選択します。

Failover Cluster Manager による VM の管理

Failover Cluster Manager による VM の作成

(Hyper-VHX クラスタとともにインストールされている) Windows Failover クラスタに接続し、 Failover Cluster Manager を使用して新しい VM を作成するために、以下の手順を終了します。 手順

ステップ1	Failover Cluster Managerコンソールで、	[Actions] ペインで、	[Connect to Server] をクリック
	します。		

- ステップ2 [Select Cluster] ダイアログボックスでは、Hyper-V HX クラスタに移動するために、[Browse] をクリックします。[OK] をクリックします。
- ステップ3 左側のペインで、[Roles] > [Virtual Machines...] > 新しい仮想マシン(New Virtual Machine)...
- ステップ4 新しい仮想マシンダイアログボックスで検索し、新しい Vm を作成する HYPER-V ノードを選 択します。[OK] をクリックします。[新規仮想マシン (New Virtual Machine)] ウィザードが表 示されます。
- ステップ5 [始める前に (Before You Begin)] ページで、[次へ (Next)] をクリックします。
- **ステップ6** [Specify Name and Location] ページで、VM の名前を選択し、VM を保存するロケーションまたはドライブを指定します。[Next] をクリックします。
- **ステップ7** [Specify Generation] ページで、使用する仮想マシンの世代([Generation 1] または [Generation 2])を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ8 [Assign Memory] ページで、VM に必要なメモリの量を入力します。[次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ9** [Connect Virtual Hard Disk] ページで、名前、場所、ハードドライブサイズを入力します。[次 へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ10** [Installation Options] ページで、OS のインストール場所を選択します。[次へ(Next)]をク リックします。
- ステップ11 [サマリー(Summary)]ページで、選択したオプションを確認し、[完了(Finish)]をクリック します。
- **ステップ12** 新しく作成された VM を右クリックし、[Connect...]をクリックします。[Virtual Machine Connection] ウィンドウで、[Start] を選択します。
 - (注) デフォルトでは、フェールオーバー クラスタ マネージャは、作成された 4 個のネットワークにデフォルト名を割り当てます。これらのネットワーク名の名前を変更する ことをお勧めします。

次のタスク

管理パスを介してHXクラスタ境界外からのデータストアアクセス要求のリダイレクトを有効 にするには、Hyper-Vマネージャ、フェールオーバークラスタマネージャ、または SCVMM コンソールを実行している(リモート)マシン上のホストファイルに次のエントリを追加しま す。たとえば、C:\Windows\System32\drivers\etc\hostsを編集して次を追加します。

cluster_mgmt_ip \\smb_namespace_name\datastore_name

```
10.10.10.100 \\hxcluster.company.com\ds1
```

SCVMM ホストへのデータ パス アクセスの開始

SCVMM ホストへのデータパスアクセスを開くには、次の手順を完了します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	クラスタ管理 IP アドレスへのセキュア シェル ログイン セッションを開始しま す。	
ステップ2	次の情報を確認して、クラスタ内のアン サンブル メンバを判別します。	<pre>root@ucs900scvm:~# cat /etc/springpath/storfs.cfg grep crmZKEnsemble cmZKEnsemble=10.107.48.14:2181,10.107.48.15:2181,10.107.48.16:2181 root@ucs900scvm:~#</pre>
ステップ3	現在の SSH ログインセッションから、 crmZKEnsemble パラメータに表示され ている任意の IP アドレスへの SSH セッ ションを起動します。	
ステップ4	追加パラメータを指定せずに次のスクリ プトを実行します。	python/qot/springath/storfs-hyperv/FixSoumRacess.py スクリプトは、SCVMM IP アドレスを 入力するように要求します。
ステップ5	SCVMMIPアドレスを追加し、SSHセッ ションを終了します。	

SCVMM への HyperFlex 共有の設定

始める前に

SmbアクセスポイントをHyperFlexクラスタのクラスタ管理IPアドレスに解決するには、VMM 管理コンソールを実行しているホスト上の /etc/hosts ファイルを編集します。この IP アドレス は通常、Cisco HX 接続の開始を使用します。

The complete path is : C:\Windows\System32\drivers\etc Open the "hosts" file in the above directory in Notepad or any other text editor and add the following entry in the bottom :

<CMIP> <smb_share_namespace>

CMIP will be the Cluster Management IP which is usually used to open HX connect UI.

For example, 10.10.10.1 hxhvsmb.example.com

36/300



 (注) SCVMM をアカウントとして実行する場合は、Active Directory (AD) 内の対応する HyperFlex 組 織単位 (OU) のhxadmin (またはフル権限を持つ他のドメイン管理者アカウント) を使用するこ とを推奨します。

手順

- ステップ1 System Center Virtual Machine Manager (VMM)に、クラスタを追加します。
- ステップ2 VMM コンソールで、[Fabric] > [Server] > [All Hosts]に移動します。
- ステップ3 クラスタを右クリックし、[プロパティ (Properties)]を選択します。

II Hosts			5tCtiv	/M	Kunning	Running
ucc000ufe			🐌 TestN	ligration	Host Not Responding	Running
ucs900	*	Create Service		2-10	Running	Running
ucs901	*	Create Virtual Ma	achine	1-11	Running	Running
ucs902	a	Refresh		pwsServer2016	Running	Running
ucs903		Optimize Hosts Move to Host Group Uncluster Add Cluster Node			Running	Running
WIN-NTC95	1					
	K					
	4					
	-	Validate Cluster				
	1	Upgrade Cluster Update Functional Level				
	1					
		View Networking	1			
5. A.M.	-	Remove				
		Properties				

ステップ4 [Properties] ウィンドウで、[File Share Storage] > [Add File Storage]を右クリックします。

Status The following file shares will be available as storage locations for VMs deployed to nodes in this cluster. Available Storage File Share Rath Access Status Classification Free Space Total Capacity File Share Storage Specify a valid SMB share path to use for VM GB 1,024.00 GB Shared Volumes Specify a valid SMB share path to use for VM GB 1,024.00 GB Virtual Switches File share path: Whyperv-team.hw-ad1Jocall.ds1 ✓ To register a file share to this cluster, select a managed file share from the list or enter the UNC path for an unmanaged file share. For managed shares, VMM grants file share access to the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account. For unmanaged file share. To bring a file share into management account for the VMM cluster management account. For unmanaged file share. To bring a file share into management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM Othing a file share into management in the VMM console, open the Fabric workspace, click the Providers node, and then click "Add Storage Device." OK Cancel	General	File Share Storage				
Available Storage File Share Bath Access Status Classification Free Space Total Capacity Add File Share Specify a valid SMB share path to use for VM deployment File share path: Whyperv-team.hv-ad1.local\ds1 To register a file share to this cluster, select a managed file share from the list or enter the UNC path for an unmanaged file share. For managed shares, VMM grants file share access to the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster To bring a file share into management: in the VMM console, open the Fabric workspace, click the Providers node, and then click "Add Storage Device." OK Cancel Repair Add. Remove	Status	The following file shares will	be available as storage locations for VN	Is deploye	ed to nod	les in this cluster:
File Share Storage Specify a valid SMB share path to use for VM Shared Volumes File share path: www.share path to use for VM Virtual Switches File share path: www.share path to use for VM Custom Properties File share path: www.share path for an unmanaged file share from the list or enter the UNC path for an unmanaged file share. For managed shares, VMM grants file share access to the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster To bring a file share into management in the VMM console, open the Fabric workspace, click the Providers node, and then click "Add Storage Device." OK Cancel	Available Storage	Eile Share Path	Access Status Classification	Free S	GB	Total Capacity 1.024.00 GB
ihared Volumes deployment /irtual Switches File share path: w Custom Properties To register a file share to this cluster, select a managed file share from the list or enter the UNC path for an unmanaged file share. For managed shares, VMM grants file share access to the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account have access to the file share. To bring a file share into management: in the VMM console, open the Fabric workspace, click the Providers node, and then click "Add Storage Device." OK Cancel	ile Share Storage	Specify a valid SMB sh	nare path to use for VM			
Airtual Switches File share path: Whyperv-team.hw-ad1.local\ds1 v Sustom Properties To register a file share to this cluster, select a managed file share from the list or enter the UNC path for an unmanaged file share. For managed shares, VMM grants file share access to the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account. For unmanaged file share, ensure that the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account have access to the file share. To bring a file share into management in the VMM console, open the Fabric workspace, click the Providers node, and then click "Add Storage Device." OK Cancel	hared Volumes	deployment	20			
To register a file share to this cluster, select a managed file share from the list or enter the UNC path for an unmanaged file share. For managed shares, VMM grants file share access to the Active Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account for the virtualization cluster and the VMM cluster Directory computer account for the virtualization cluster and the VMM cluster management account have access to the file share. To bring a file share into management: in the VMM console, open the Fabric workspace, click the Providers node, and then click "Add Storage Device." OK Cancel	/irtual Switches	File share path: \\hyperv-	team.hv-ad1.local\ds1	~		
Repair Add Remove		list or enter the UNC path for For managed shares, VIMI g computer account for the vir management account. For un Directory computer account cluster management account To bring a file share into man workspace, click the Provider	r an unmanaged file share. rants file share access to the Active Dire tualization cluster and the VMM cluster imanaged file shares, ensure that the Active for the virtualization cluster and the VMI have access to the file share. agement: in the VMM console, open this s node, and then click "Add Storage Dev OK Ca	tive M e Fabric rice."		
			Rep	air	Add	Remove

ステップ5 マッピングが完了したら、次のスクリーンショットで示すように、共有が追加されます。

General	File Share Storage					
Status	The following file shares will be ava	ailable as storage	locations for VMs	deployed to no	des in this cluster:	
	File Share Path	Access Status	Classification	Free Space	Total Capacity	٦
Available Storage	Whyperv-team.hv-ad1.local\ds1	0	Remote Storage	897.12 GB	1,024.00 GB	
File Share Storage						1
Shared Volu File Share Storage						
Virtual Switches						
Custom Properties						
			Repair	r Add.	Remove	
				_	_	
View Script				OK	Cancel	

ステップ6 [OK]をクリックし、VMM を終了します。HyperFlex 共有がマッピングされ、SCVMM を使用 してこの共有上で VM を作成できます。

Windows Defender の再有効化

次のコマンドを実行して、Windows Defender を再度有効にします。

PowerShell からの Defender のインストール

Install-WindowsFeature -Name Windows-Defender

(オプション) PowerShell からの Defender GUI のインストール

Install-WindowsFeature -Name Windows-Defender-GUI

ホスト間のVM の移行

始める前に

スタンドアロンホストとHX Hyper-Vホスト間のVM移行を実行するには、次の手順を実行します。この手順を実行する前に、次の前提条件を満たすようにしてください。

- ・送信元と宛先の Hyper-V ホストが同じ Active Directory にあることを確認します。例として、この手順では HXHVINFRA2 を Active Directory のスタンドアロン hyper-V ホストとして、「hxhvdom1.local」、HXHV1 を同じ Active Directory (hxhvdom1.local) 内の HX Hyper-V ノードとして使用します。
- Failover Cluster Manager で、送信元と宛先の両方の Hyper-V ホストにライブ移行設定を設定します。

手順

- ステップ1 Hyper-V Manager を開きます。
- ステップ2 [navigation (ナビゲーション)] ペインで、[HXHVINFRA2] を選択します。
- ステップ3 [Action (アクション)] ペインで、[Hyper-V Settings (Hyper-V 設定)] > [Live Migrations (ライブ 移行)] をクリックします。
- ステップ4 [Live Migrations (ライブ移行)] ペインで、[Enable incoming and outgoing live migrations (有効な 着信および発信ライブ移行)] をオンにします。
- ステップ5 [Incoming live migrations (着信ライブ移行)] で、[Use the IP addresses for live migration (ライブ 移行に IP アドレスを使用する)] を選択します。[Add (追加)] をクリックし、次に [OK] をク リックします。これにより、[Move (移動)] ウィザードが開きます。
- ステップ6 ウィザードページを使用して、移動、宛先サーバ、およびオプションのタイプを選択します。
- ステップ7 [Summary (サマリ)] ページで、選択したものを確認し、[Finish (終了)]をクリックします。

インストール後の VLAN の追加

インストールの完了後に VLAN を追加することは、VMware 固有のプロセスです。VLAN を作成するには、Cisco UCS Manager の手順に従う必要があります。「HyperFlex のインストール後の VLAN の追加」を参照してください。

手順

インストールの完了後に VLAN をクラスタに追加するには、次の手順を実行します。

PS > Get-VMNetworkAdapterVlan -ManagementOS -VMNetworkAdapterName vswitch-hx-vm-network

VMName VMNetworkAdapterName Mode VlanList ----vswitch-hx-vm-network Untagged PS > Get-NetLbfoTeamNic -Name team-hx-vm-network Name : team-hx-vm-network InterfaceDescription : Microsoft Network Adapter Multiplexor Driver #3 Team : team-hx-vm-network VlanID : Primary : True Default : True TransmitLinkSpeed(Gbps) : 80 ReceiveLinkSpeed(Gbps) : 80


クラスタ拡張—コンバージドノード

クラスタ拡張—コンバージドノード(67ページ)

クラスタ拡張—コンバージドノード

始める前に

- ・3.5 (2a) よりも前のリリースで稼働している Hyper-V クラスタの場合、クラスタ拡張はコンバージドノードでのみサポートされます。
- ・コンバージドノードは、クラスタ作成後に追加できます。
- •この手順には、Windows オペレーティング システムのインストールも含まれます。
- クラスタを展開する前に、Windows ISO ファイルが使用可能であることを確認してください。

手順

- ステップ1 Cisco HX Data Platform のインストーラを起動します。
- **ステップ2** ログインページで、次のクレデンシャルを入力します。

ユーザ名 : root

パスワード (デフォルト) : Cisco123

- (注) システムは、デフォルトのパスワード[cisco123]で出荷されますので、インストール 中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定し ない限り、インストールを続行できません。
- **ステップ3** [利用規約に同意します(I accept the terms and conditions)] チェックボックスをオンにして、[ロ グイン (Login)] をクリックします。
- **ステップ4** [ワークフローの選択(Select a Workflow)] ページで、[クラスタ拡張(Cluster Expansion)] を 選択します。

ステップ5 [クラスタ (Cluster)]ページで、次のフィールドに入力し、[続行 (Continue)]をクリックします。

フィールド	説明
[クラスタ管理ホスト名(Cluster Management Hostname)]	既存のクラスタのホスト名。
[ユーザ名(User Name)]	既存のクラスタの管理者ユーザ名。
[パスワード (Password)]	HX クラスタの管理者ユーザのパスワード。

ステップ6 [クレデンシャル (Credentials)]ページで、次のフィールドに入力し、[続行 (Continue)]をクリックします。

フィールド	説明
[UCS Manager Credentials]	
UCS Manager ホスト名(UCS Manager Hostname)	Cisco UCS Manager の FQDN または IP アドレス。
UCS Manager User Name	管理者ユーザーまたは Cisco UCS Manager の管 理権限を持つユーザー。
Password	UCS Manager のパスワード。
ドメイン情報	
[HXサービスアカウント(HX Service Account)]	既存のクラスタに関連付けられた HX サービ ス アカウント。
[パスワード (Password)]	HX サービス アカウントのパスワード。
制限された委任	
[制限付き委任を今すぐ設定する(推奨) (Configure Constrained Delegation now(recommended))]または[制限付き委任を 後で設定する(Configure Constrained Delegation later)]	次のいずれかのチェックボックスを選択しま す。 制約付き委任 (Constrained Delegation) は、VM ライブマイグレーションに必要です。制限付 き委任を後で設定する場合は、「ライブマイ グレーションとVMネットワークの静的IPアド レスの設定」で説明している手順を使用して ください。
[HXサービスアカウントのパスワード(HX Service Account Password)]	制約付き委任 (Constrained Delegation) に必要で す。

フィールド	説明			
HX サービス アカウントを使用します。	HX サービス アカウントが提供されている場 合は、チェックボックスをクリックします。			
	オンにすると、制限付き委任に HX サービス アカウントが使用されます。ユーザはドメイ ン管理者である必要があります。			
[ユーザ名 (Username)]	ドメイン レベルのユーザ名を入力します。			
[パスワード (Password)]	ドメイン レベルのパスワードを入力します。			
ハイパーバイザのクレデンシャル				
[ローカル管理者アカウント(Local Administrator Account)]	Hyper-V ホストのローカル管理者ユーザ名。			
[パスワード (Password)]	ローカル管理者アカウントのパスワード。			

- ステップ7 [ノードの選択 (Node Selection)]ページの [関連あり (Associated)] タブと [関連なし (Unassociated)] タブで、すべての関連付けられているサーバと関連付けられていないサーバ をそれぞれ確認します。
 [関連なし (Unassociated)] タブでは、既存のクラスタに任意のノードを追加できます。
 [関連あり (Associated)] タブでは、既存のクラスタからサーバの関連付けを解除できます。
 ステップ8 [UCSMの設定 (UCSM Configuration)]ページで、既存のクラスタの VLAN 設定と MAC プー ル情報に関して自動入力される詳細情報を表示または変更します。かに 「続行 (Continue)」
 - ル情報に関して自動入力される詳細情報を表示または変更します。次に、[続行(Continue)] をクリックします。
- **ステップ9** [ハイパーバイザの設定(Hypervisor Configuration)]ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[ハイパーバイザ (HYPER-V) のインストール (Install Hypervisor (Hyper-V))]	このチェックボックスは、デフォルトでオン になっています。
	チェックボックスを選択したままにして、OS のインストールとネットワークの設定を有効 にします。[参照 (Browse)]をクリックし、 ISOファイルを選択してアップロードします。 または、ISO ファイルをそのエリアにドラッ グアンドドロップします。
	[インストールするオペレーティングシステムの選択(Select the Operating System you wish to install)] から、次のいずれかを選択します。
	 Windows Server 2016 Datacenter (デスク トップ エクスペリエンス)
	• Windows Server 2016 Datacenter (Core)
	 Windows Server 2019 Datacenter (デスク トップ エクスペリエンス)

[続行 (Continue)]をクリックします。

- ステップ10 [ノードの設定 (Node Configuration)] ページで、[コンバージドサーバの追加 (Add Converged Server)]をクリックしてサーバを既存のクラスタに追加します。
- ステップ11 [開始(Start)]をクリックして展開を開始します。[進捗状況(Progress)]ページには、設定タ スクの進捗状況が表示されます。
- ステップ12 次のインストール後の手順を実行します。
 - ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アドレスの設定 (44 ページ)
 - ・(任意)インストール後の制約付き委任(44ページ)
 - ・ローカルのデフォルトパスを設定する (45ページ)
 - Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認 (53 ページ)



クラスタ拡張—コンピューティング専用 ノード

- •概要(71ページ)
- 拡張前のチェックリスト (71ページ)
- クラスタ拡張: M5 ブレード サーバ (M 2 SATA) または M4 ブレード サーバ (ローカル SAS ドライブ) (76 ページ)
- クラスタ拡張: M4 ブレード サーバ (ファイバ チャネル SAN) (109 ページ)



コンバージドまたはコンピューティング専用ノードを追加して、Hyper-V クラスタを拡張でき ます。次に、Hyper-V クラスタでサポートされているコンバージドおよびコンピューティング 専用ノードのリストを示します。

- ・コンバージドノード: HX220c M5、HX240c M5、HX220c AF M5、HX240c AF m5
- ・コンピューティング専用ノード: B200 M5、B200 M4 ブレード サーバ、C220 M5 C シリーズ ラック サーバ

次の手順では、コンピューティング専用ノードを追加して、Hyper-Vクラスタを拡張する方法 について説明します。この拡張ワークフローには Windows OS のインストールが含まれてお り、HXインストーラを使用したクラスタ作成する際には実行されません。コンバージドノー ドを使用して Hyper-V クラスタを拡張するには、クラスタ拡張—コンバージドノード(67 ページ)を参照してください。

拡張前のチェックリスト

コンピューティング専用ノードを追加してHyper-Vクラスタを拡張するには、主要な要件、考慮事項、およびタスクをまとめた次の拡張前のチェックリストを満たすようにしてください。

要件/タスク	説明		
サポートされるバージョンお	HX Data Platform	3.5 (2a).	以降
よびブラットフォーム		重要	クラスタが 3.5 (2a) より前のリリースで 実行されている場合 は、既存のクラスタ を少なくとも 3.5 (2a) にアップグレードし ていることを確認し てください。
	コンピューティング専用ノー ドとストレージ オプション	注目	UCS B200 M5 ブレー ド サーバ (M.2 SATA ドライブ搭載)。
			HW RAID M.2 (UCS-M2-HWRAID) および HX-M2-HWRAID) は、コンピューティ ング専用ノードでは サポートされていま せん。 UCS B200 M4 ブレー ドサーバ (ローカル SAS またはファイバ チャネル SAN 搭 載)。
	Windows ISO	お客様な Windows ISO	いら提供される s 2016 Datacenter Edition
コンピューティングからコン バージドへの最大比率	1:1	1	
最大クラスタ サイズ	1個のクラスタに最大 32 ノードを設定できます。		
ネットワーク速度	コンピューティング専用ノードとHyperFlex コンバージドノー ド間でネットワーク速度を混在させることは推奨されません。 たとえば、コンバージドノードの既存のネットワーク接続が 40 GbE の場合、コンピューティング専用ノードも 40 Gb の速 度で接続する必要があります。		

I

要件/タスク	説明	
ブート ディスク接続の決定	トポロジおよび追加するコンピューティング専用ノードのタ イプに基づいて、次の拡張シナリオのいずれかを選択します。	
	• M.2 SATA ドライブを搭載した UCS M5 ブレードサーバ、 またはローカル SAS ドライブを搭載した UCS M4 ブレー ドサーバのクラスタ拡張	
	(注) HW RAID M.2 (UCS-M2-HWRAID および HX-M2-HWRAID)は、コンピューティング専用 ノードではサポートされていません。	
	 ファイバチャネルを搭載した UCS M4 ブレードサーバの クラスタ拡張 	
ブート ディスク容量	Windows OS のインストール時に、240GB よりも大きいブー トディスクが1個のみ存在することを確認します。クラスタ の拡張が完了したら、追加のディスクを選択できます。	

I

要件/タスク	説明
HyperFlex ドライバ イメージ の準備	

要件/タスク	説明		
	WI ルル トた シウン	NDOWS ISO および HyperFlex ドライバイメージ ファイ は、Cisco UCS Manager およびアウトオブバンド サブネッ から到達可能な共有ロケーション (HX インストーラなど) 記置する必要があります。インストーラ VM内の共有ロケー ョンで、HyperFlex ドライバイメージと Windows ISO をダ ノロードしてホストするには、次の手順を使用します。	
	Win 自重 す。	ndows Server 2016 の場合は、次の手順を実行して、OS の 動インストール用の適切なドライバ イメージを準備しま	
	1.	HX インストーラ VM に接続し、 /var/www/localhost/images/が含まれているフォル ダを参照します。	
	2.	HyperFlex ドライバイメージ (/opt/springpath/packages/latest.img)を、イ メージフォルダ(/var/www/localhost/images/)に コピーします。	
	Win 自重 す。	ndows Server 2019 の場合は、次の手順を実行して、OS の 動インストール用の適切なドライバイメージを準備しま	
	1.	HyperFlex ドライバイメージをコピーします。たとえば、 次のコマンドを実行します。	
		rsync -avzP /opt/springpath/packages/latest.img /var/www/localhost/images/install.img	
	2.	HyperFlex ドライバイメージをマウントします。たとえ ば、次のコマンドを実行します。	
		mkdir -p /mnt/install-img && mount -o loop,rw /var/www/localhost/images/install.img /mnt/install-img	
	3.	Windows Server 2019 に固有の応答ファイルをコピーしま す。たとえば、次のコマンドを実行します。	
		cp /pt/spingrath/packags/RataryUnattentXML/WindowServe2019/Automattendxmbo /mnt/install-img/Autounattend.xml	
	4.	サイズの値を変更して、ブート パーティションのサイズ を増やすことによって、Autounattend.xml ファイルを編集 します。次に例を示します。	
		<createpartition wcm:action="add"></createpartition>	

要件/タスク	説明		
	<extend>false</extend>		
	<size>92160</size>		
	<type>Primary</type>		
	<size>の値を 92160 から 195668 に変更します。</size>		
	5. HyperFlex ドライバイメージをマウント解除します。たと えば、次のコマンドを実行します。		
	umount /mnt/install-img		
	(注) SD カードに Windows Server 2019 または 2016 をイ ンストールすることはできません。		
	 (注) autounattend.xml で参照されている DiskID は、OS が インストールされているコンピューティングノード 上のローカルディスクを正しく指し示す必要があり ます。 		
ファイバチャネル SAN を使用 したマルチパス	ファイバ チャネル SAN では、マルチパスを使用しないでく ださい。		
ファブリック インターコネク ト サポート	コンピューティング専用ノードの拡張は、コンピューティン グノードが同じファブリックインターコネクト上にある場合 にのみサポートされます。		

クラスタ拡張: M5 ブレード サーバ (M 2 SATA) または M4 ブレード サーバ (ローカル SAS ドライブ)

手順の概要

UCS M5 ブレードサーバ (M. 2 SATA) または M4 ブレード サーバ (ローカル SAS ドライブ)を 追加するための Hyper-V クラスタ拡張手順は、次の一連のタスクで構成されています。

- 1. 拡張前のチェックリスト
- **2.** Cisco UCS Manager の設定 (77 ページ)
- **3.** Microsoft OS のインストール (85ページ)
- 4. ハイパーバイザ設定、HXDP ソフトウェアのインストールとクラスタの拡張(97ページ)

- 5. 次のインストール後の手順を実行します。
 - ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アドレスの設定 (44 ページ)
 - ・(任意)インストール後の制約付き委任(44ページ)
 - ・ローカルのデフォルトパスを設定する(45ページ)
 - Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認 (53 ページ)

Cisco UCS Manager の設定

次の手順では、HX インストーラを使用した Cisco UCS Manager の設定について説明します。

手順

- **ステップ1** 次の手順を使用して、HX Data Platform インストーラにログインします。
 - a) ブラウザに、HX Data Platform インストーラ がインストールされる VM の URL が入力され ました。
 - b) 次のクレデンシャルを使用します。 ユーザ名: root、パスワード: Cisco123
 - **重要** システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インス トール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワー ドを指定しない限り、インストールを続行できません。
 - c) EULA を読みます。[I accept the terms and conditions] をクリックします。[ログイン(Login)] をクリックします。
- ステップ2 [Select a Workflow (ワークフローの選択)] ページで、[Expand Cluster (クラスタの拡張)] > [Compute Node (コンピューティング ノード)] を選択します。

		Г	
Cluster Creation with HyperFlex (FI)			Expand Cluster
	Cluster Creation with HyperFlex (FI)	Cluster Creation with HyperFlex (FI)	Cluster Creation with HyperFlex (FI)

ステップ3 次の画面で、[Run UCS Manager Configuration (UCS マネージャ設定の実行)] をクリックし、 [Continue (続行)] をクリックします。

cisco	HyperFlex Installer			0	0	0 ~
			Workflow			
Sele	ct a Workflow					
	8	Is OS installed on the N	lode			
			Run UCS Manager Configuration			
		0	Run Hypervisor Configuration			
		0	Deploy HX Software			
	0	Create HX Cluster	Expand HX Cluster			
€ SI	now me the standard workflows				Continu	*

注意 この時点で他のワークフロー オプションを選択しないでください。

ステップ4 表示されるポップアップで [確認 (Confirm)] をクリックします。

Warning	×
You have selected a custom option that splits the installation or expansion workflow. You must complete all tasks in the w If your nodes are data-at-rest encryption capable, custom installation is not supported. Cancel to return to the standard workflow. Confirm and Proceed to continue with a custom workflow.	vorkflow to ensure a working HX storage cluster.
[Cancel Confirm and Proceed

ステップ5 [Credentials (クレデンシャル)] ページで、UCS Manager の次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
UCS Manager Host Name	UCS Manager の FQDN または VIP アドレス。
UCS Manager ユーザ名とパスワード	管理者ユーザーおよびパスワードまたはCisco UCS Manager の管理者権限を持つユーザー。

このページに値を入力するには、次の図を参考にしてください。

diale HyperFlex Installer				€				0 ~
Credentials		Server Selection			UCSM Config	guration		
HyperFlex Installer Credentials UCS Manager Credentials UCS Manager Host Name 10.05.121.240	UCS Manager User Name admin	Server Selection	٥	Con	figuration	Drag and drop uration files h		¢ ~
					< Back		Continue	

[Continue]をクリックして進みます。インストーラは、UCS Manager に接続し、使用可能なサーバーを照会しようとします。インストーラが進行すると、設定ペインが表示されます。クエリが終了すると、使用可能なサーバが画面上に表示されます

ステップ6 [Server Selection (サーバ選択)] ページで、クラスタにインストールするすべてのサーバを選択して、[Continue (続行)] をクリックします。

HyperFlex Installer			0 0 0 0 0
Credentials	Server Selec	tion	UCSM Configuration
Server Selection HX for Hyper-V only runs on MS servers. The	Confg at below is restricted to MS servers.	gure Server Ports Refresh	Configuration •-
Unassociated (4) Associated (0)	hinda davat	have been a being	UCS Manager Host Name ucs-hx-eap.ciscolab.dk
	HXAF220C-M55X W2P2148075Y	none Actions ~	UCS Manager User Name admin
Server 2 unassociate	HKAF220C-M55X WZP214807RI	none Actions ~	
 Server 3 unassociate 	HKAF220C-M5SX W2P214807RE	none none	
Server 4 unassociate	HXXAF220C-M55X WZP2148075C	none none	

ステップ7 [UCSM Configuration (UCSM 設定)] ページで、VLAN 設定の次のフィールドに値を入力します。

HyperFlex には少なくとも4 つの VLAN が機能する必要があり、それぞれが異なる IP サブネット上にあり、ファブリック インターコネクトから接続するアップリンク スイッチまで拡張す る必要があり、プライマリ ファブリック インターコネクト (ファブリック A) から従属ファブ リック インターコネクト (ファブリック B) へのトラフィック フローを確実にする必要があり ます。

名前	使用法	ID
hx-inband-mgmt	Hyper-V および Hyperflex VM 管理。	10
hx-storage-data	HyperFlex のストレージ トラ フィック	20
hx-livemigrate	Hyper-V ライブ マイグレー ション ネットワーク	30
vm-network	VM ゲスト ネットワーク	100,101

このページに値を入力するには、次の図を参考にしてください。

VLAN for Hypervisor and Hype	erFlex management	VLAN for HyperFlex storage	e traffic
VLAN Name	VLAN ID	VLAN Name	VLAN ID
hx-inband-mgmt		hx-storage-data	
VLAN for VM Live Migration VLAN Name	VLAN ID	VLAN for VM Network VLAN Name	VLAN ID(s)
hy-livemigrate		vm-network	

- (注) ・ベストプラクティスではないため、VLAN1を使用しないでください。また、レイヤ2で問題が発生する可能性があります。
 - vm-network には、複数の VLAN をカンマ区切りのリストとして追加できます。
- 注意 4 つのコアネットワークの名前を変更することはできません。
- **ステップ8** MAC プールの残りのネットワーク設定、Cisco IMC の「hx」 IP プール、Cisco IMC アクセス管理(アウトオブバンドまたはインバンド)を入力します。

フィールド	説明	値
[MAC Pool]		
MAC Pool Prefix	HX クラスタの MAC アドレス プールは、インストーラに よって UCSM で設定されま す。MAC アドレス プールが レイヤ 2 環境の他の場所で使 用されていないことを確認し ます。	00:25:b5: x x
Cisco IMCの 'hx' IPプール	<u>.</u>	
IP ブロック	HyperFlex ノードのアウトオブ バンド管理に使用される IP ア ドレスの範囲。	10.193.211.124127
Subnet Mask	アウトオブバンド ネットワー クのサブネット マスク	255.255.0.0
Gateway	アウトオブバンド ネットワー クのゲートウェイ アドレス	10.193.0.1

フィールド	説明	値
Cisco IMCアクセス管理(アウト	-オブバンドまたはインバンド)	
インバンド(推奨) アウト オブ バンド	コンバージドノードクラスタ の作成に使用されたオプショ ンを選択します。	

- (注) ・アウトオブバンドネットワークは、UCS Manager と同じサブネット上にある必要がありる
 - ・複数のアドレスブロックをコンマ区切りの行として追加することができます。

MAC Pool Prefix		
00:25:B5:		
'hx-ext-mgmt' IP Pool for Out-of-ba	ind CIMC	
'hx-ext-mgmt' IP Pool for Out-of-ba	and CIMC Subnet Mask	Gateway

重要 FC SAN ブートオプションを使用してM4 ブレードサーバを使用して hyper-v クラスタ を拡張する場合は、fc ストレージを有効にする必要があります。FC ストレージの フィールドに入力します。

表 3: (オプション) FC SAN を搭載した M4 ブレード サーバに適用可能

フィールド	説明	値の例
FC Storage	FX ストレージを有効にする必 要があるかどうかを示す チェック ボックス。	FC ストレージを有効にするに はオンにします
WWxN Pool	 WW ノード名および WW ポー ト名の両方を含む WWN プー ル。それぞれのファブリック インターコネクトに対し、 WWPN および WWNN 用の WWxN プールが作成されます。 	20:00:25: B5: C2

フィールド	説明	値の例
VSAN A Name	プライマリファブリックイン ターコネクト (FI-A)のVSAN の名前。デフォルトでは、 hx-ext-storage-fc-aに設定され ています。	hx-ext-storage-fc-a
VSAN A ID	プライマリファブリックイン ターコネクト(FI-A)のネッ トワークに割り当てられた一 意の ID。	70
VSAN B Name	下位のファブリックインター コネクト (FI-B) の VSAN の 名前。デフォルトでは、 hx-ext-storage-fc-b に設定され ています。	hx-ext-storage-fc-b
VSAN B ID	下位のファブリック インター コネクト(FI-B)のネットワー クに割り当てられた一意の ID。	70

ステップ9 [詳細設定(Advanced)] セクション

フィールド	説明	値の例
UCS ファームウェア サーバ バージョン	適切な UCS サーバ ファーム ウェア バージョンを選択しま す。	3.2(3a)
HyperFlex Cluster Name	このユーザ定義名は、識別を 容易にするために UCSM の サービス プロファイル命名の 一部として使用されます。	
Org Name	org. name は、HX 環境を他の UCS プラットフォームと分離 して一貫性を確保するために 使用されます。	HX-Cluster1

- **ステップ10** [Start(スタート)]をクリックすると、インストーラは入力を検証し、UCSマネージャの設定を 開始します。
- ステップ11 HX Data Platform インストーラ が終了したら、次の手順に進むことができます。



Microsoft OS のインストール

Microsoft OS のインストールでは、まず、Cisco UCS Manager で次の2つのイメージファイル をマップするように vMedia ポリシーを設定する必要があります。

- ・顧客から提供される Windows 2016 datacenter EDITION ISO または Windows Server 2019
 Datacenter-デスクトップ体験 ISO、および
- ・Cisco から提供される Cisco HyperFlex ドライバイメージ



(注) ファイル共有とすべてのサーバ管理 IP アドレスの間にネットワーク接続が確立されていることを確認します。

手順

ステップ1 Cisco UCS Manager の起動:

- a) Web ブラウザで Cisco UCS Manager の IP アドレスを入力します。
- b) [Launch UCS Manager] をクリックします。
- c) ログイン画面で、ユーザ名として admin を入力し、インストールの開始時に設定したパス ワードを入力します。[Log in] をクリックします。
- ステップ2 Windows OS イメージと Cisco ドライバ イメージの vMedia ポリシーを作成します。
 - a) [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - b) [サーバ (Servers)]>[ポリシー (Policies)]>[root」]>[下位組織 (Sub-Organizations)]> [hx-cluster_name]>[vMedia ポリシー (vMedia Policies)]の順に展開します。
 - c) [vMedia Policies] ポリシーを右クリックし、[Create vMedia Policy]を選択します。

	FI-6332-A - Unified Comp ×		θ -	o x
~	C A Not secure https://10.29.14	19.205/app/3_2_3a/index.html		Q ☆
altalta cisco	UCS Manager		Q 9 0) () ()
æ	Policies 🔹	Policies / root / vMedia Policies		
-	 Policies 	vMedia Policies		
	▼ root	+ - Ty Advanced Filter 🔶 Export 🔶 Print		٥
유	 Adapter Policies 	Name Type		
	 BIOS Defaults 	No data available		
	 BIOS Policies 			
	 Boot Policies 			
	 Diagnostics Policies 			
-	 Graphics Card Policies 			
-	 Host Firmware Packages 			
	 IPMI Access Profiles 			
	 KVM Management Policies 			
10	 Local Disk Config Policies 			
	 Maintenance Policies 			
	 Management Firmware Packages 			
	 Memory Policy 			
	 Power Control Policies 			
	 Power Sync Policies 			
	 Scrub Policies 			
	 Serial over LAN Policies 			
	 Server Pool Policies 			
	 Server Pool Policy Qualifications 			
	 Threshold Policies 			
	 ISCSI Authentication Profiles 			
	vMedia Policine Create vMedia Policy	⊕ Add		
	 vNIC/vHBA Placement Policies 			

d) [Create vMedia Policy] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
Name	vMedia ポリシーの名前。たとえば、 <i>HX</i> <i>vMedia</i> です。
	この名前には、1~16文字の英数字を使用 できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコ ア)、: (コロン)、および (ピリオド) は 使用できますが、それ以外の特殊文字とス ペースは使用できません。また、オブジェ クトが保存された後にこの名前を変更する ことはできません。
Description	ポリシーの説明。ポリシーを使用すべき場 所や条件についての情報を含めることを推 奨します。最大115文字を入力できます。

フィールド名	説明			
[Retry on Mount Failure]	障害の発生時に vMedia がマウントを続行す るかどうかを指定します。ここに表示され る値は次のとおりです。			
	・あり			
	・なし			
	 (注) デフォルト設定は、[Yes]です。 [はい(Yes)]を選択すると、マウントに成功するか、このオプションが無効化されるまで、リモートサーバは vMedia マウントプロセスのマウントを試行し続けます。 [No]を選択すると、警告メッセージが表示され、マウントが失敗した場合にはリトライが機能しないことが示されます。 			

例については次のスクリーンショットを参照してください。

Create	Media Po	olicy						?
ame escription etry on Mou vMedia Mou	: <u>HX</u> - : int Failure : <u>O N</u> unts	vMedia o • Yes						
+ - 7	Advanced Filter	♠ Export	n Print					¢
Name	Туре	Protocol	Authentica	Server	Filename	Remote Pa	User	Remap on
			(A) A	dd 🕅 Dalat	a O lata			
			WA		e o mo			
							ОК	Cancel

e) [vMedia Mounts] ペインの下のアイコンバーで [+ Add] をクリックします。[Create vMedia Mount] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

I

フィールド名	説明	値の例
Name	マウント ポイントの名前。	Windows ISO
Description	詳細を確認するのに使用でき ます。	Windows Server 2016 画像 または Windows Server 2019 画像
デバイス タイプ	マウントする画像のタイプこ こに表示される値は次のとお りです。 •[CDD]:スクリプト可能 vMedia CD。 •[HDD]:スクリプト可能 vMedia HDD。	CDD
[Protocol]	ISO ファイルが置かれている 共有にアクセスするために使 用されるプロトコル。	НТТР
Hostname/IP Address	イメージをホストしている サーバーの IP アドレスまた は FQDN。	10.101.1.92
[Image Name Variable]	この値は、HyperFlex インス トールでは使用されません。	なし
[Remote File]	マウントするISOファイルの ファイル名。	
Remote Path	ファイルが存在するリモート サーバ上のパス	
Username	CIFS または NFS を使用する 場合は、ユーザ名が必要な場 合があります	
Password	CIFS または NFS を使用する 場合は、パスワードが必要な 場合があります	

例については次のスクリーンショットを参照してください。

Create vMed	ia Mount	? ×
Name Description	: Windows-ISO : Windows Server 2016 Image	
Device Type Protocol	: OCDD O HDD : ONFS O CIFS O HTTP O HTTPS	
Hostname/IP Address	: 10.29.149.212	
Image Name Variable Remote File	: en_windows_server_2016_x64_dvd_9327751.iso	
Remote Path	: /images/	
Password	:	
Remap on Eject	: 🗆	
	ОК С	ancel

f) [OK] をクリックします。[OK] をクリックするとすぐに [vMedia Policies] 画面に戻り、送 信した情報が表示されます。

Create vN	Media Po	olicy						?	X
Name Description Retry on Mount I vMedia Mount	: HX- : Failure :N	vMedia							
+ - 19A	dvanced Filter	♠ Export	🖶 Print					¢	¥
Name	Туре	Protocol	Authentica	Server	Filename	Remote Pa	User	Remap on	
			(+) Ad	d 🖲 Delete	1 Info				
							ок	Cancel)

- g) 手順 2e と 2f を繰り返しますが、タイプを HDD に、ファイル名をCisco HyperFlex driver image に変更します。
- h) この手順の終わりでは、次のスクリーンショットに示すように、2つのvMediaマウントが [Create vMedia Policy] 画面に表示されます。

reate v	Media Po	olicy						? >
lame Description Retry on Mount vMedia Mount	: HX- : Failure : O N	vMedia						
+ - TyA	Advanced Filter	♠ Export	🖶 Print					٥
Name	Туре	Protocol	Authentica	Server	Filename	Remote Pa	User	Remap on
HX-Cis	HDD	HTTP	Default	10.29.149	HXInstall	/images/		No
Windo	CDD	HTTP	Default	10.29.149	en_windo	/images/		No
			(+) Ad	dd 🗊 Delete	Info			
							ОК	Cancel

- ステップ3 vMedia ポリシーをサービス プロファイルに関連付けます。
 - a) [Navigation (ナビゲーション)] ペインで、[Servers (サーバ)]>[Service Profile Templates (サー ビス プロファイル テンプレート)]>[root (ルート)]>[Sub-Organizations (サブ組織)]> [hx-cluster_name]>[Service Template (サービス テンプレート)][compute-nodes]、または [compute-nodes-m5]を選択します。

	FI-6332-A - Unified Comp ×		
÷ -	C A Not secure https://10.29.14	49.205/app/3_2_3a/index.html	
uluilu cisco	UCS Manager		•
#	Service Profile Templates	Service Profi / root / Sub- Organizations / HyperFlex / Service Tem	
2	Service Profile Templates root	General Storage Network iSCSI vNICs vMedia Policy Actions	Boot Order Policies
윪	 Sub-Organizations HyperFlex 	Modify vMedia Policy Global vMedia Policy	
	 Service Template compute-nodes Service Template compute-nodes- 	Name : HyperFlex vMedia Policy Instance : org-root/org-HyperFlex/mnt-cfg-policy-HyperFlex	
Q	 Service Template hx-nodes 	Description : vMedia policy to install or re-install software on I	HyperFlex servers
=	Service Template hx-nodes-m5	Retry on Mount Failure : Yes vMedia Mounts	
	 Sub-Organizations 		
		Name Type Protocol Authentic Server File	name Remote P
20		No data available	

- b) [vMedia Policy] タブをクリックします。次に、[Modify vMedia Policy] をクリックします。
- c) ドロップダウンの選択肢から、作成した vMedia ポリシーを選択し、[OK] を2回クリック します。

Modify v	Media Po	licy					
vMedia Policy: C Name Description Retry on M	HyperFlex Select vMedia Create a Spec vMedia Policie HX-vMedia	Policy to us ific vMedia	e Policy	nstall software o	n HyperFlex ser	vers	
+ -	Ty Advanced Filter	Export Protocol	Print Authent	ticat Server	Filename	Remote Path	User
				No data avail	able		

d) [General] タブで、仮想メディア(vMedia)ポリシーがサービス プロファイルに追加され たことを確認します。



ステップ4 ブート ポリシーを変更し、ブート順序を設定して CIMC CD/DVD をリストに追加します。

- a) [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。
- b) [Servers (サーバ)] > [Policies ()] > [root (ルート)] > > [Boot Policies (ブート ポリシー)] > [hx-compute]、または [hx-compute-m5] を展開します。

÷	C A Not secure https://192.168	99.11/app/4_0_2b/index.html								0 0 0
	UCS Manager		8 😳	0 0 41 22				(
	At Server Pool Pations Server Pool Pations Server Pool Pation Methods Pations Methods Pations Addenter Spaces Collimited Servers Collimited Servers Collimited Servers Collimited Servers Boot Pations Boot Pations	Servers / Publics / rest / Sub- Convert Lovers Active Deals	denna / Boot Pulicies / Boot Pulicy	An-compute ind An-compute ind Anonemended boot policy for Hy Societ Societ	perFlex servers					
	Boot Policy HyperFiles									
	Boot Policy HyperFlex-m5 Boot Policy surfacet	Local Devices	Boot Order	A food A foot						
	 Diagnostics Policies 	CIMC Mounted vMedia	Name	Draw . WCMBAISC. Type	UUN Name	www	Skit Number	Boot Name	Boot Parts	
	 Orapitics Card Policies 									Descriptio
	 Host Fernware Packages 	() vNCs	CO/OVO Local Disk	2						Descriptio
	Host Firmware Packages PMUReaflish Access Profiles KVM Management Policies	⊕ vNCs ⊕ vHBAs	CO/OVO Local Dek :	1						Description
	Host Firmware Packages SMARedNah Access Profiles KVM Management Policies Local Disk Config Policies	 ⊕ vNCs ⊕ vHEAs ⊕ ICCSI vNCs 	CORVO Local Dek 3	2						Description
	Host Fernaue Packages Bild/Badhuh Access Instites Well Management Policies Local Dial Config Princes Maritmance Policies Maritmance Policies	(+) + + + + + + + + + + + + + + + +	CORVO Local Dek	2						Description
	Host Fernaure Packages HARDbadtul Access Institus KAM Management Polices Local Disk Config Polices Maintenance Policies Maintenance Policies Margament Fernaure Packag Poperr Control Polices	(+++++++++++++++++++++++++++++++++		5	t Move Up & M	Ioue Down 🖷 Dele	68			Description
	Host Finnsure Packages Shi/Bardhah Access Padies Koth Vaugement Patkes Local Dea Config Palexes Manapament Famaure Packag Pauer Control Palexes Power Control Palexes Power Sync Palexes	WNCs WHAs WOGRAM GCGI VNCs WERAS ER Snell	CORVO Local Duk		t Move Up	tove Down 👔 Dele	66			Description
	Host Finnson Pockapis Phylophylio Access Portles Phylophylio Access Portles Cod Dia Confe Policies Management Particles Management Finnane Packap Paese Control Palaces Paese Sonth Palaces Sondo Palaces	MACs WHEAs OCCI VHCs OECI VHCs OEF Shel	COOPD Local Dat	5	t Move Up & M	ton Down 🛞 Dele	10			Description
	Host Pressee Packages Shuffleadur Access Pankes Shuffleadur Access Pankes Kod Manugamet Packas Local Dak Conte Palces Management Frenance Packas Paerer Control Palces Paerer Control Palces Sonde Palce Sonde Palces Sonde Palces Senior UNIV States Senior Palces	whics webla webla webla webla test seet	Chick® Local Dok	6	t Mine Up & N	tove Down 🛞 Dele	14	Acti	wate Windon	Descripti

- c) [Boot Order] 設定ウィンドウで、[CIMC Mounted CD/DVD] をクリックします。次に、
 [CIMC マウント CD/DVD の追加(Add CIMC Mounted CD/DVD)] をクリックして、これを ブート順序に追加します。上に移動 ボタンを使用してブート順序の先頭に移動します。
 - **重要** 次のスクリーン ショットで示されているように、**CIMC マウント CD/DVD**オプ ションはその他のオプション、**ローカル ディスクの組み込み**と**CD/DVD**の前の ブート順序で最上位である必要があります。

ame	Order	vNIC/v	Туре	LUN N	WWN	Slot N	Boot N	Boot P	Descri
CIMC Mounted CD	1								
CD/DVD	2								
Local Disk	3								

d) [Save Changes] をクリックし、[Success] ダイアログボックスで[OK]をクリックします。変 更されたブート ポリシーが保存されます。

ステップ5 成功した vMedia マウントを確認します。

- a) [機器 (Equipment)] タブで、いずれかのサーバを選択します。
- b) [インベントリ > CIMC] をクリックし、下にスクロールしてマウント エントリ #1 (OS イ メージ) とマウント エントリ #2 (Cisco HyperFlex ドライバ イメージ) を確認し、ステータ スが [マウント済み] であり、障害がないことを確認します。

cisco	UCS Manager	8 👽 0 4				• •	990 000
ж.	Al 🔹	Equipment / Rack-Mounts / Servers /	ver 1				
	 Equipment Chassis 	General Inventory Virtual Machin Motherboard CIMC CPUs GPU	nes Hyt Js Merr	orid Display Installed F nory Adapters HE	Firmware SEL Logs CI BAs NICs ISCSI vNICs	MC Sessions VIF P	aths Power Control Monitor> >
88	 Rack-Mounts FEX 			Boot-loader Version: 3.1(Running Version : 3.1(3a)	(3a)		
	Server 1			Backup Version: 3.1(2d) Update Status : Ready			
	 Server 2 Server 3 			Startup Version : 3.1(3a) Activate Status : Ready Actual vMedia Mounts			
	Fabric Interconnects Fabric Interconnects			Actual Mount Entry 1	Windows-ISO	Type	CDD
J ₀	Fans Fixed Module			Protocol : Port :	HTTP 80	Server	: 10.29.149.212 //s_server_2016_x64_dvd_93277!
	PSUs Fabric Interconnect B (subordinate)			Remote Path :	/images/	User	
	Fans Fixed Module			Status : Authentication Protocol :	Mounted	Mount Failure Reason Remap on Eject	None
	Ethernet Ports EC Ports			Actual Mount Entry 2 Mapping Name :	HX-Cisco-Driver	Туре	HDD
	PSUs Policies			Protocol : Port :	нттр 80	Server	10.29.149.212 HXInstall-HyperV-
	Port Auto-Discovery Policy						DatacenterCore-v3.0.1b- 29665.img
				Remote Path : Status :	/images/ Mounted	User Mount Failure Reason	None
				Authentication Protocol :	None	Remap on Eject	No

- c) メニューバーで [サーバ (Servers)] をクリックし、最初の HyperFlex サービス プロファイル を選択します。
- d) [General] タブをクリックし、[Actions] > [KVM Console>>] を選択します。

 (注) 新しいブラウザで KVM コンソールが開いてみます。ポップアップブロッカーに 注意してください。ポップアップを許可して、KVM を再び開きます

cisco	UCS Manager				🕃 👽 🧳 0 4 1	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
ж	Service Profiles 👻	Service Profile	s / root /	Sub-Organiz	ations / Hype	erFlex / Service Profile	rack-un
	Service Profiles root	General	Storage	Network	iSCSI vN	ICs vMedia Policy	Boot Order Virt
모	 Sub-Organizations 	Fault Summa	iry			Properties	
00	 HyperFlex 	8	V		0		
重	rack-unit-1 (HXCLUS)	0	0	0	0		This servi
Q	 rack-unit-2 (HXCLUS) rack-unit-3 (HXCLUS) 	Status					th To modify th
	 rack-unit-4 (HXCLUS) 	Overall Statu	is: 🛉 OK			Name	: rack-unit-1
=	Sub-Organizations	(+) Status	Details			User Label Description	: HXCLUS
		Actions	10	10.04.0			
30		Set Desired P	ower S	KVM Co	onsole-Se	elect IP Address	\times
				 10.29.1 	49.191 (Outba	and)	
		Shutdown Se Reset	rver		🖉 Launch Ja	va KVM Console OF	Cancel
		KVM Console	>>			Template Instance	e : org-root/or
						Assigned	Server or Server P

- e) ホストを再起動し、KVM を起動して、Windows インストールの進捗状況を監視します。
 [ファイルを読み込んでいます (Loading Files)] 画面が表示されます。Windows はユーザーの介入なしに自動的にインストールされます。
 - (注) ユーザーの介入なしに Windows を自動的にインストールするオプションは、新規 インストールまたは初回インストールの場合にのみ適用されます。再インストー ルの場合、またはノードにすでに Windows パーティションが含まれている場合 は、「いずれかのキーを押して CD/DVD から起動してください」のプロンプトに 応答する必要があります。

青い画面が表示され、しばらくすると[セットアップが開始されました (Setup is starting)] メッセージが表示されるはずです。ホストは数回再起動します。自動インストールが開始 されない場合は、両方のイメージがサーバにマウントされていることを再度確認します。

- f) c:\users\administrator>でクリアコマンドプロンプトが表示されたら、インストー ルは完了です。これは、Windows Core および Desktop Experience の両方のインストールに 適用されます。ドライバイメージをコピーしてインストールするには数分かかる可能性が あります。
 - (注) [指定されたファイルが見つかりません(The system cannot find the file specified)] というメッセージがプロンプトに表示される場合は無視してください。
 - **重要** HX クラスタに含めるすべてのサーバで**ステップeとf** が完了していることを確認します。

 (注) Microsoft Windows OS がノードにすでにインストールされている場合は、新しい OS のインストールが行われるように、ノードが起動したときに続行するには、 任意のキーをクリックする必要があります。

続行するためにキーを何もクリックしていない状態で、以前にインストールされた OS がインストールされている既存のノードを展開すると、新しいインストールがスキップされ、さらなる拡張に失敗します。

g) 各サーバにログインし、次のことを確認します。

Powershell コマンド Get-ScheduledTask -TaskName HXInstallbootstraplauncherTask を実行 します。HXインストールブートストラップランチャタスクが実行されていることを確認 します。次のような出力例を示します。

TaskPath	TaskName		State
\		HXInstallbootstraplaunche	erTask
Running			

C:\ProgramData\Cisco\HyperFlex\Install\Log\PostSysprepSetup.logにロ グ行「Done with HX PostSysPrepSetup」が存在することを確認します。

Powershell コマンド Get-Command Get-VMSwitch を実行します。コマンドが正常に実行されていることを確認します (例外はありません)。次のような出力例を示します。

CommandType	Name	Version	Source
Cmdlet	Get-VMSwitch	2.0.0.0	Hyper-V

ステップ6 VMedia ポリシーをリセットして、デフォルトの HyperFlex ポリシーに戻します。

- a) コンピューティング ノードの vMedia ポリシーを更新します。[Servers (サーバ)]>[Service Profile Templates (サービス プロファイル テンプレート)]>[root (ルート)]>
 [Sub-Organizations (サブ組織)]>[hx-cluster_name]>[Service Template (サービス テンプレート)] [compute-nodes]、または [compute-nodes-m5] に移動します。次に、[Modify vMedia Policy]を選択します。
- b) [vMedia ポリシー (vMedia Policy)] ドロップダウン選択で、[HyperFlex] ポリシーを選択しま す。

ステップ1 インストール前に、ブート順序を復元します。

- a) [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。
- b) [Servers (サーバ)] > [Policies ()] > [root (ルート)] > > [Boot Policies (ブート ポリシー)] > [hx-compute]、または [hx-compute-m5] を展開します。
- c) [Boot Order]の設定ペインで、CIMC マウント CD/DVDオプション リストの一番下に移動 するのに下へ移動] ボタンを使用します。

ステップ8 ローカル管理者パスワードを、既存のクラスタのパスワードと一致するように変更します。

- a) 新しくインストールされたコンピューティング ノードにログインします。
- b) コマンドプロンプトを開きます。
- c) 次のコマンド net User Administrator < password > を実行します。

ステップ9 HXInstallbootstraplauncherTaskのパスワードを更新し、実行されていることを確認します。

a) 実行されている場合は、スケジュール済みタスクが「HXInstallbootstraplauncherTask」を停止します。

次に例を示します。

Get-ScheduledTask -TaskName "HXInstallbootstraplauncherTask" | Stop-ScheduledTask

b) タスクのクレデンシャルをっ更新します。

次に例を示します。

Get-ScheduledTask -TaskName "HXInstallbootstraplauncherTask" | Set-ScheduledTask -User "Administrator" -Password <password>

c) スケジュールされたタスクを開始し、実行中であることを確認します。

次に例を示します。

Get-ScheduledTask -TaskName "HXInstallbootstraplauncherTask" | Start-ScheduledTask

Get-ScheduledTask -TaskName "HXInstallbootstraplauncherTask"

ハイパーバイザ設定、HXDP ソフトウェアのインストールとクラスタの拡張

WindowsOSのインストールが完了したら、次の手順を実行してハイパーバイザを設定し、HX Data Platform ソフトウェアをインストールして、クラスタを拡張します。

手順

- **ステップ1** HX データ プラットフォーム インストーラを再度開き、ログインします。
- **ステップ2** 前のワークフローが終了したため「やり直す」必要がある可能性があります。右上隅にある歯 車アイコンをクリックし、[やり直す]を選択します。
- ステップ3 [Select a Workflow (ワークフローの選択)] ページで、[Expand Cluster (クラスタの拡張)] > [Compute Node (コンピューティング ノード)] を選択します。

		Workflow	
Select a Wor	kflow		
			*
	Cluster Creation with HyperFlex (Fl)	Expand Cluster Converged Node	
		Compute Node	

ステップ4 [Select a Workflow (ワークフローの選択)] ページで、[Expand HX Cluster (HX クラスタの拡張)] を選択します。[Is OS installed on the Node (ノードに OS をインストールする)]、[Run Hypervisor Configuration (ハイパーバイザ設定の実行)]、[Deploy HX Software (HX ソフトウェアの展開)] チェックボックスをオンにしたままにします。

Select a Workflow	
	8 Is OS installed on the Node
	Run UCS Manager Configuration
	Run Hypervisor Configuration
	Deploy HX Software
	Create HX Cluster 🛛 🐼 Expand HX Cluster
Show me the standard workflows	Continue

ステップ5 [警告] ダイアログ ボックスで、[確認して続行する] をクリックします。

Warning	×
You have selected a custom option that splits the installation or expansion complete all tasks in the workflow to ensure a working HX storage cluster. If your nodes are data-at-rest encryption capable, custom installation is not Cancel to return to the standard workflow. Confirm and Proceed to continue with a custom workflow.	workflow. You must t supported.
Cancel	Confirm and Proceed

ステップ6 [Cluster (クラスタ)] ページで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明	値の例
HX クラスタ管理 IP	HX クラスタの管理 IP アドレ ス	10.104.252.135
クラスタ管理ユーザー	管理者のユーザー名	admin
Password	管理者パスワード	

dialo cisco HyperFlex Installer			O			0	o ~
Cluster	Credentials	Node Selection	Hypervisor Configuration		Node Cor	figuration	
Cluster Cluster HX Cluster Management IP 10.104.252.135	Credentials Cluster Admin User admin	Node Selection Password	Hypervisor Configuration	nfiguratio	Drag and dro guration files Select a File	p p here or	4
				< Back		Continue	

ステップ7 [Credentials] ページで、次のフィールドに値を入力します。

表 4: UCS Manager クレデンシャル

フィールド		
[UCS Manager Host Name]	UCSMのFQDNまたはVIPア ドレス。	
UCS Manager User Name	管理ユーザーまたは UCSM 管 理権限を持つユーザー	
パスワード	UCS Manager ユーザー名のパ スワード。	

表	5:	Domain	Information	(ド	X	1	ン情報/
---	----	--------	-------------	----	---	---	------

フィールド		
HX サービスアカウント	プレインストール フェーズで 作成された HX サービス アカ ウント。	hxadmin
[パスワード (Password)]	HX サービス アカウントのパ スワード。	
今すぐ制約付き委任を設定(推 奨) 後で制約付き委任を設定	次のいずれかのチェックボッ クスを選択します。制約付き 委任 (Constrained Delegation) は、VM ライブ マイグレー ションに必要です。	

この画面に値を入力するには、次の図を参考にしてください。

5-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-	Credentials	Node Selection	Hypervisor Configur	ation	Ned	Configuration	
			Type have contiger		1100	e componenti	
				Configur	ation		
Connected to: 10	0.104.252.135			Cluster			
iealth: Hi ize: 4	NUNE EALTHY			Managemen	t Cluster	10.1043	252.1
JCS Manager Credenti	als UCS Manager User Name	Password					
10.65.121.240	admin		0				
Comain Information							
IX Service Account	Password						
IX Service Account	Password	0					
0X Service Account huadmin Configure Constrained I	Password	Configure Constrained Delegation	later				
00 Service Account huadmin Configure Constrained D	Password Delegation now (recommended)	Configure Constrained Delegation	later				
OX Service Account Incadmin Configure Constrained C Use HX Service Account	Password Pelegation now (recommended)	Configure Constrained Delegation	i later				
OX Service Account Invadmin Configure Constrained E Use HX Service Account	Password Pelegation now (recommended)	Configure Constrained Delegation	h later				
OX Service Account Incadmin Configure Constrained I Use HX Service Account	Password Pelegation now (recommended)	Configure Constrained Delegation	i later				
X Service Account Acadmin Configure Constrained E Use HX Service Account	Password Delegation now (recommended) : ①	Configure Constrained Delegation	1 later				
OX Service Account Invadmin Configure Constrained [Use HX Service Account	Password Delegation now (recommended)	Configure Constrained Delegation	i later				
X Service Account Account Account Configure Constrained E Use HX Service Account	Password Delegation now (recommended) : ①	Configure Constrained Delegation	1 later				
0X Service Account huadmin Configure Constrained I Ø Use HX Service Account	Password Delegation now (recommended)	Configure Constrained Delegation	i later				

ステップ8 [Node Selection (ノード選択)]ページで、クラスタにインストールするすべてのサーバを選択して、[Continue (続行)]をクリックします。
cisco	;	Нур	erFlex Inst	aller						0	0	0	0	0
		c	luster		Creder	cials	N	lode Selection	Hypervisor Configura	tion		Node Co	nfiguration	
S	erver HX	r Sele for Hy	ection per-Vonly runs ed (1) Ass	on M5 serve ociated (2)	ers. The list belo	w is restricted to M	5 servers.	Configure Server Ports	Refresh	Cor	nfiguration ter	n		*
-		\$	Server Name	Status	Model	Serial	Assoc State	Service Profile	Actions	Mary	agement Clust	ber	10.104.	252.135
	2	(ET)	Secure 5	ok	UCSB-B200-	W792208115W	associated	org-root/org-HyperFlex/ls-	Actions V	Cred	lentials	No.	10.55	
-					M5			rack-unit-5		UCS	Manager User	Name	10.03.	admin
	2	()D	Server 1/1	ok	UCSB-8200- M5	FCH2141JBKY	associated	org-root/org-HyperFlex/Is- chassis-1_blade-1	Actions ~	HX S	ervice Accoun	t	h	xadmin
										Cons	trained Deleg	ation		true
										Time	Zone	Pa	icific Standa	rd Time
										Orga	nization Unit	OU*Hyper	Rex.DC=hxh C	vdom1,)C=local
										Local	Administrate	r Account	Admin	ISTRADOF
											< Back		Continue	

ステップ9 [Hypervisor Configuration (ハイパーバイザ設定) ページで、[VLAN Configuration (VLAN 設定)]、[Hypervisor Settings (ハイパーバイザ設定)]、および [Hypervisor Credentials (ハイパーバイザ クレデンシャル)] の次のフィールドに値を入力します。

VLAN 設定—HyperFlex には少なくとも 4 つの VLAN が必要であり、それぞれが異なる IP サ ブネット上にあり、ファブリック インターコネクトから接続するアップリンク スイッチまで 拡張する必要があり、プライマリ ファブリック インターコネクト (ファブリック A) から従属 ファブリック インターコネクト (ファブリック B) へのトラフィック フローを確実にする必要 があります。

この画面に値を入力するには、次の図を参考にしてください。

VLAN for Hypervisor and Hype	erFlex management	VLAN for HyperFlex storage	traffic
VLAN Name	VLAN ID	VLAN Name	VLAN ID
hx-inband-mgmt		hx-storage-data	
VLAN for VM Live Migration VLAN Name	VLAN ID	VLAN for VM Network VLAN Name	VLAN ID(s)
		um naturals	

ハイパーバイザ設定: チェックボックス [Make IP Addresses and Hostnames Sequential (IP アドレスとホスト名を連続させる)]のチェックをオンのままにする場合、インストーラが残りのサーバを最初から連続的に自動入力します。

ハイパーバイザクレデンシャル:Hyper-Vホスト上のローカル管理者ユーザー名を入力します。 [Continue] をクリックします。

ステップ10 [Node Configuration (ノード設定)] ページで、[Hypervisor Settings (ハイパーバイザ設定)] と [IP Addresses (IP アドレス)] のフィールドに入力します。

フィールド	説明	値の例
Subnet Mask	ハイパーバイザ ホスト管理 ネットワークのサブネット マ スク	255.255.255.0
Gateway	ハイパーバイザ ホスト管理 ネットワークのデフォルト ゲートウェイ	10.101.251.1
DNS サーバ	ハイパーバイザ ホストがメン バーを外れる AD の DNS サー バのカンマ区切りリスト。	10.101.251.1

この画面に値を入力するには、次の図を参考にしてください。

Clu					~
	ster	Credencials	Node Selection Hypervisor Conf	iguration Node Configuration	
Hypervisor S	Settings			Configuration	*
Subnet Mask		Gateway	DNS Server(s)	Cluster	
255.255.255.0		10.104.252.1	10.104.252.44	Management Cluster 10.104.252.1	35
Failover Cluster N	Name 🕢			Credentials	
hohywfo				UCS Manager Host Name 10.65.121.2	40
				UCS Manager User Name adm	nin
				HX Service Account hxadm	sin
IP Addresses	5		Add Compute Server	Constrained Delegation 57	ue
Make Hyper	visor Name and IP Addre	ss Sequencial		Time Zone Pacific Standard Tin	ne
Primary DNS Suff	fox 🗊	Additional DNS Suffixes		Organization Unit OU=HyperFlex.DC=huhw m1.DC=loc	do cal
HXHVDOM1.LC	DCAL			Local Administrator Account Administrat	lor
		Management - VI AN 6	12 Data VIAN 2172	Node Selection	
		Management - VLAN 6 (HXHVDOM1.LOCAL	13 Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address)	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCSB-8200-M	VIS
		Management - VLAN 6 (HXHVDOM1.LOCAL	13 Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address)	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCS8-B200-M Server 5 WZP2208115W / UCSC-C220-M5	WS SX
11 ÷ 1	Namen Hyperviso	Management - VLAN 6 (HXHVDOM1.LOCAL)	513 Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) ① Hypervisor ① Storage Controller	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCSB-8200-A Server 5 WZP2208115W / UCSC-C220-MS Hypervisor Configuration	us sx
l1 ↔ 1	Namen Hyperviso	Management - VLAN 6 (HXHVDOM1.LOCAL) w ① Storage Controller	513 Data - VLAN 3172 .) (Hostname or IP Address) ① Hypervisor ① Hypervisor ③ Storage Controller	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCSB-8200-4 Server 5 WZP2208115W / UCSC-C220-MSI Hypervisor Configuration VUAN Name VLAN Name hxvinband-mgr	uts SX mt
11 ↔ 1 = ⊙ Se	Namen Hyperviso	Management - VLAN 6 (HXHVDOM1.LOCAL or ① Storage Controller (Data - VLAN 3172 .) (Hostname or IP Address) ① Hypervisor ① 192.168.11.87	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCS8-8200-A Server 5 WZP220811SW / UCSC-C220-MS Hypervisor Configuration VLAN Name VLAN Name hxvinband-mgr VLAN ID 6	MS SX mt 13
11 • 1 = • Sec	Namen Hyperviso nver 1/1 huhvboo	Management - VLAN 6 (HORHVDOM1.LOCAL or © Storage Controller 2	Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) Hypervisor 192.168.11.87	Node Selection Server 1/1 FCH2141jBKY / UCSB-B200-A Server 5 WZP220811SW / UCSC-C220-MS Hypervisor Configuration VLAN Name VLAN ND 6 VLAN Name hw-storage-da	MS SX 13 Ita
11 ↔ 1 = ⊙ Set = ⊙ Set	Namen Hyperviso rver 1/1 mpute hohvboo rver 5 mpute hohvroo	Management - VLAN 6 (HORHVDOM1.LOCAL or © Storage Controller (513 Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) (Hostname or IP Address) (Hypervisor Storage Controller 192.168.11.87 192.168.11.86	Node Selection Server 1/1 FCH2141jBKY / UCS8-8200-h Server 5 WZP2208115W / UCSC-6220-MSI Hypervisor Configuration VLAN Name VLAN ID 6 VLAN Name hx-storage-de VLAN ID 31	MS SX 13 Ita
11 ↔ 1 = ⊙ Set = ⊙ Set	Namen Hyperviso nver 1/1 mpute hohvboo nver 5 mpute hohvroo	Management - VLAN 6 (HXH/VDOM1.LOCAL) or ① Storage Controller (52	Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) (Hypervisor 102.108.11.87 102.108.11.86	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCS8-8200-A Server 5 WZP2208115W / UCSC-C220-MSI Hypervisor Configuration VLAN Name VLAN ID 6 VLAN ID 6 VLAN ID 31 VLAN Name hx-storage-da VLAN Name hx-storage-da VLAN Name hx-livemigra	MS SX 113 113 113 113 113
11 ↔ 1 = ⊙ Sec = ⊙ Sec	Name^ Hyperviso	Management - VLAN 6 (HXH/VDOM1.LOCAL or ① Storage Controller (Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) Hypervisor 192.168.11.87	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCSB-8200-4 Server 5 WZP2208115W / UCSC-C220-MSI Hypervisor Configuration VLAN Name hxinband-mgr VLAN ID 6 VLAN ID 6 VLAN ID 31 VLAN Name hxistorage-da VLAN ID 31 VLAN Name hxistorage-da VLAN ID 31 VLAN ID 31	M5 SX 113 128 72 108 73
11 • 1 = • Sec = • Sec	Namen Hyperviso nver 1/1 hshvbor nver 5 hshvroo	Management - VLAN 6 (HXHVDOM1.LOCAL or © Storage Controller (Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) Hypervisor 192.168.11.87 192.168.11.86	Node Selection Server 1/1 FCH2141jBKY / UCSB-8200-M Server 5 WZP2208115W / UCSC-C220-MS Hypervisor Configuration VLAN Name hwinband-mgr VLAN ID 6 VLAN Name hwistorage-da VLAN ID 31 VLAN Name hwistorage-da VLAN ID 31 VLAN ID 31 VLAN Name hwistorage-da VLAN Name hwistorage-da VLAN Name hwistorage-da VLAN Name wm-network	M5 SX 113 Hta 72 Hta 73 Hta
11 ↔ 1 = ⊙ Set = ⊙ Set	Namen Hyperviso nver 1/1 huhvbor nver 5 mpute huhvroo	Management - VLAN 6 (HORHVDOM1.LOCAL or © Storage Controller (22	513 Data - VLAN 3172 (Hostname or IP Address) (Hostname or IP Address) (Hypervisor Storage Controller 192.168.11.87 192.168.11.88	Node Selection Server 1/1 FCH2141JBKY / UCS8-8200-A Server 5 WZP220811SW / UCSC-C220-MSI Hypervisor Configuration VLAN Name hwinband-mgr VLAN ID 6 VLAN ID 31 VLAN ID 31	MS SX mmt 113 Hta 72 Hte 73 Kk 74

[Start (開始)] をクリックしてハイパーバイザ設定を開始します。これでインストールが続行し、ハイパーバイザのホストを設定します。

ステップ11 [警告] ダイアログ ボックスで、[確認して続行する] をクリックします。

Wa	irning	×
	You must create a new Local Disk Configuration Policy and apply it to the newly created service profiles before the installation begins. For the complete procedure, see Chapter: Expanding HyperV Cisco HyperFlex Syste Clusters in the Cisco HyperFlex Systems Installation Guide.	m
	Cancel	Qr Froz

ステップ12 [Progress(進捗)] 画面には、ハイパーバイザ設定とクラスタ拡張のステータスが表示されます。

HyperFlex Installer						0	0	e	°	1
			Progress							
0	0					Config	uration			
Start Config H	pervisor	Deploy	Deploy	Expansion	Cluster	Chuster				
Installer Cor	figuration	Validation		Validation	Expansion	Unaster			0.101.252.1	26
						Guidan	late		0.104.232.1	23
Libraro ison Configuration in Dr						Credent	Dats			
Hypervisor Configuration in Pr	ogress					UCS Man	ager Host N	me	10.65.121.2	
						WY Sector	ager User na	me	byada	nin
			Hypervise	or Configuration		Constrain	ned Delegatic	20		
there are for formation for any						Time Zor	10	Pacific	standard Ti	me
hypervisor Configuration - Overall	1	Login to UCS API				Organization Unit OU+HyperFlex,DC+hyhvi			do	
	~	Quering vMedia mount status				m1,0			m1,DC=lo	cal
	1	Inventorying org of specified servers				Local Administrator Account Administra			Administrat	cor
	~	Inventorying physical servers				Node Se	election			
	1	Logout from UCS API				Server 1/	1 FCH21	41jBKY / U	JCS8-8200-1	M5
	~	CONFIGURATION COMPLETED	SUCCESSFULLY			Server 5	WZP2208	11SW / UC	SC-C220-M5	SX
	U	Waiting for all servers to acquir	re IP address			Hypervi	sor Configu	ration		
						VLAN Na	me	Poo	-inband-mg	me
blade-1	U	Waiting for server to acquire IP	address			VLAN ID			6	13
in Progress						VLAN Na	me	h	x-storage-da	ata
rack-unit-5						VLAN ID			31	72
In Progress	U	Waiting for server to acquire IP	address			VLAN Na	me		hx-livemigra	ate
						VLAN ID			31	73
						VLAN Na	me		vm-netwo	prk
						VLAN ID(5)		3176,31	74
						Subnet N	Aask		255.255.255	5.0
						Gateway			10.104.253	2.1
						DNS Sen	ver(s)		10.104.252	44

ステップ13 プロセスが正常に終了すると、[Summary (概要)] ページに完了ステータスが表示されます。

(1).1)1. cisco	HyperFlex	Installer							0				۵ -
		P	rogress					Sun	nmary				
Clu	uster Name hxh	vsmb online	HEALTHY										
Ve	rsion			3.5.2a-31586		Domain Nan	ne				нх	HVDOM1.L	DCAL
Clu	uster Management IF	Address	hothycip.HXHV	DOM1.LOCAL		Failover clus	ter Nam	•				hod	wwfc
Clu	uster Data IP Address		1	92.168.11.135		DNS Server(s)					10.104.2	52,44
Re	plication Factor			Three copies		NTP Server(s	5)					10.104.2	52.44
Av	ailable Capacity			10.7 TB									
Se	rvers	Serial Number	Management Hypervisor	Manageme	nt Storage Con	troller	Data N	etwork Hypervisor		Data Networ	k Storage (ontroller	
F	WAF240C-M5SX	WZP22020L9E	10.104.252.127	10.104.252.1	131		192.16	8.11.127	1	92.168.11.13	1		
U	JCSC-C220-M55X	WZP2208115W	10.104.252.87				192.16	8.11.86					
F	KAF240C-M55X	WZP22020L96	10.104.252.129	10.104.252.1	133		192.16	8.11.129	1	92.168.11.13	3		
۲	XAF240C-M55X	WZP220216WY	10.104.252.128	10.104.252.1	32		192.16	8.11.128	1	92.168.11.13	2		
U.	JCS8-8200-M5	FCH2141JBKY	10.104.252.86				192.16	8.11.87					
	WAF240C-M5SX	WZP22020L9B	10.104.252.130	10.104.252.1	134		192.16	8.11.130	1	92.168.11.13	14		
								Back to Workflow	v Selectic	xn La	unch Hype	rFlex Conne	ĸt

HX Connect にログインするには、[Launch HX Connect (HX Connect の起動)] をクリックしま す。[HX Connect Dashboard (HX Connect ダッシュボード)] ページには、クラスタの状態、動作 ステータス、およびクラスタ内の新しく追加されたコンピューティング専用ノードの情報が表 示されます。

Cisco HyperFlex Systems リリース 4.0 インストール ガイド (Microsoft Hyper-V 用)

=	h	khvsmb	© 0
🕑 Dashboard	OPERATIONAL STATUS Online		
MONITOR	- M→ RESILIENCY HEALTH Healthy ⊙	✓ 1 Node failure c	an be tolerated
ANALYZE	CAPACITY 1.1% 10.7 TB 119.5 GB U	ed 10.6 TB Free OPTIMIZATION	Storage optimization, compression and deduplication ratios will be calculated once we have sufficient information regarding cluster usage.
MANAGE	6 Converg	c- 2 <u>NODES</u> jed Compute	
T Upgrade	1095 Last 1 hour	Read Max: 0 M	lin:0 Avg: 0 • Write Marc 3.4 Minc1.3 Avg: 3.08
	Throughput (MBps) Last 1 hour	Read Max: 0 h	MintO Aug: 0 • Write Max: 0.01 MintO Aug: 0.01
	Latency (msec) Last 1 hour	Read Max: 0 Min:	0 Avg: 0 • Write Maic 1.69 Mirc1.15 Avg: 1.27
About			Cluster Time : 12/13/2018 11:17:42 AM PS

クラスタ拡張: M4 ブレード サーバ (ファイバ チャネル SAN)

概要

ファイバチャネルを備えた UCS B200 M4 ブレード サーバストレージブート オプションの Hyper-V クラスタ拡張手順は、次の一連のタスクで構成されています。

- 1. 拡張前のチェックリスト
- 2. Cisco UCS Manager の設定
- 3. Microsoft Windows OS のインストール (110 ページ)
- 4. ハイパーバイザ設定、HXDP ソフトウェアのインストールとクラスタの拡張
- 5. 次のインストール後の手順を実行します。

- ライブ移行と VM ネットワークの静的 IP アドレスの設定 (44 ページ)
- (任意) インストール後の制約付き委任 (44 ページ)
- ローカルのデフォルトパスを設定する(45ページ)
- Hyper-V ホストの Windows バージョンの確認 (53 ページ)

Microsoft Windows OS のインストール

この手順は、UCS B200 M4 ブレード サーバ (コンピューティング専用ノード)を追加し、ファ イバチャネル SAN ブート オプションを有効にして、Hyper-V クラスタを拡張する場合に使用 します。

手順

- ステップ1 UCS Manager を起動しログインします。
- ステップ2 次の手順を実行し、サービス プロファイル テンプレートを複製します。
 - a) [Navigation (ナビゲーション)] ペインで [Servers (サーバ)] をクリックします。
 - b) 複製する組織のノードを展開し、[Create a clone (複製の作成)] を選択します。
 - c) [Create clone From Service Profile (サービス プロファイルから複製を作成する)] ダイアロ グボックスで、[Clone Name (複製名)] フィールドの新しいプロファイルに使用する名前を 入力します (例: hx-compute)。[OK] をクリックします。
- ステップ3 FC ゾーン分割を有効にするには、次の手順を実行します。
 - a) [Navigation (ナビゲーション)] ペインで、[SAN] > [VSAN] をに移動します。
 - b) [FC Zoning (FC ゾーン分割)]の下の [Enabled (有効)] ラジオ ボタンが選択されていること を確認します。
- **ステップ4** 現在のサービス プロファイル テンプレートからブレード サーバのバインドを解除し、手順2 で新しく作成したテンプレートにバインドします。
- **ステップ5** Hyperflex ドライバイメージファイルをマウントし、autounattend.xmlファイルを変更 するには、次の手順を実行します。
 - a) HX インストーラ VM に接続し、Windows ISO および HyperFlex ドライバイメージファイ ルを含む共有フォルダに移動します。
 - b) HyperFlex イメージをマウントするには、次のコマンドを実行します。

```
mkdir /mnt/hx-img
mount /var/www/localhost/images/latest.img /mnt/hx-img
```

- c) Autounattend.xml ファイルを開き、DiskID を検索して、0から Windows PE (WinPE) の値に変更します。
- ステップ6 SAN ブートポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

- a) 手順2で新しく作成したサービスプロファイルテンプレートを選択し、[Boot Order (ブート順序)] タブに移動します。[Modify Boot Policy (ブートポリシーの変更)] をクリックします。[Modify Boot policy (ブートポリシーの変更)] ページで、[Create boot policy (ブートポリシーの作成)] をクリックします。
- b) [VHBAs] を展開し、[ADD SAN Boot] を選択し、[name] フィールドに、vhbas の名前を入 力します (例: hx)。
- c) [Primary (プライマリ)] を選択し、[OK] をクリックします。
- d) [ADD SAN Boot target (SAN ブートターゲットの追加)] で、[Boot target LUN (ブートター ゲット LUN)] を [0] に設定したままにします。 [Boot TARGET WWPN] フィールドに、ス トレージアレイから WWPN を入力します。[Type (タイプ)] が [Primary (プライマリ)] に 設定されていることを確認し、[OK] をクリックします。
- ステップ7 Windows OS イメージと Cisco ドライバ イメージの vMedia ポリシーを作成します。
 - a) [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - b) [サーバ (Servers)]>[ポリシー (Policies)]>[root」]>[下位組織 (Sub-Organizations)]> [hx-cluster_name]>[vMedia ポリシー (vMedia Policies)]の順に展開します。
 - c) [vMedia Policies] ポリシーを右クリックし、[Create vMedia Policy]を選択します。

	I-6332-A - Unified Comp ×		θ	-	
÷ -	C A Not secure https://10.29.1	49.205/app/3_2_3a/index.html			Q
altalta cisco	UCS Manager		0	9	0 🕄
æ	Policies	Policies / root / vMedia Policies			
	Policies	vMedia Policies			
	▼ root	+ - Ty Advanced Filter 🔶 Export 🔮 Print			
	Adapter Policies	Name Type			
55	 BIOS Defaults 	No data available			
	 BIOS Policies 				
	 Boot Policies 				
Q	Diagnostics Policies				
_	 Graphics Card Policies 				
	 Host Firmware Packages 				
	 IPMI Access Profiles 				
-	 KVM Management Policies 				
10	 Local Disk Config Policies 				
	 Maintenance Policies 				
	 Management Firmware Packages 				
	 Memory Policy 				
	 Power Control Policies 				
	Power Sync Policies				
	 Scrub Policies 				
	 Serial over LAN Policies 				
	 Server Pool Policies 				
	 Server Pool Policy Qualifications 				
	 Threshold Policies 				
	 ISCSI Authentication Profiles 				
	VMedia Policine Create vMertia Policy	(+) Add (-) Delete (-) Info			
	 vNIC/vHBA Placement Policies 				

説明
vMedia ポリシーの名前。たとえば、 <i>HX</i> <i>vMedia</i> です。
この名前には、1 ~ 16 文字の英数字を使用 できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコ ア)、: (コロン)、および (ピリオド)は 使用できますが、それ以外の特殊文字とス ペースは使用できません。また、オブジェ クトが保存された後にこの名前を変更する ことはできません。
ポリシーの説明。ポリシーを使用すべき場 所や条件についての情報を含めることを推 奨します。最大115文字を入力できます。
障害の発生時に vMedia がマウントを続行す るかどうかを指定します。ここに表示され る値は次のとおりです。
・あり
・なし
 (注) デフォルト設定は、[Yes]です。 [Yes]を選択すると、マウントに成功するか、このオプションが無効化されるまで、リモートサーバはvMediaマウントプロセスのマウントを試行し続けます。[No]を選択すると、警告メッセージが表示され、マウントが失敗した場合にはリトライが機能しないことが示されます。

d) [Create vMedia Policy] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

例については次のスクリーンショットを参照してください。

Create vMedia Policy	? ×
Name : HX-vMedia Description : Retry on Mount Failure : No • Yes vMedia Mounts	
+ - Ty Advanced Filter 🛧 Export 🚭 Print	٥
Name Type Protocol Authentica Server Filename Remote Pa User Re	emap on
Add	
ок	Cancel

e) **[vMedia Mounts]** ペインの下のアイコンバーで **[+ Add]** をクリックします。[Create vMedia Mount] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明	値の例
Name	マウント ポイントの名前。	Windows ISO
Description	詳細を確認するのに使用でき ます。	Windows Server 2016 画像
デバイス タイプ	マウントする画像のタイプこ こに表示される値は次のとお りです。	CDD
	• [CDD]:スクリプト可能 vMedia CD。	
	• [HDD] : スクリプト可能 vMedia HDD。	
[Protocol]	ISOファイルが置かれている 共有にアクセスするために使 用されるプロトコル。	НТТР

フィールド名	説明	値の例
Hostname/IP Address	イメージをホストしている サーバーの IP アドレスまた は FQDN。	10.101.1.92
[Image Name Variable]	この値は、HyperFlex インス トールでは使用されません。	なし
[Remote File]	マウントする ISO ファイルの ファイル名。	
Remote Path	ファイルが存在するリモート サーバ上のパス	
Username	CIFS または NFS を使用する 場合は、ユーザ名が必要な場 合があります	
Password	CIFS または NFS を使用する 場合は、パスワードが必要な 場合があります	

例については次のスクリーンショットを参照してください。

Create vMed	ia	Mount	? ×
Name	:	Windows-ISO	
Description	:	Windows Server 2016 Image	
Device Type	:		
Protocol	:		
Hostname/IP Address	:	10.29.149.212	
Image Name Variable	:	None Service Profile Name	
Remote File	:	en_windows_server_2016_x64_dvd_9327751.iso	
Remote Path	:	/images/	
Username	:		
Password	:		
Remap on Eject	:		
		ОКС	ancel

f) [OK] をクリックします。[OK] をクリックするとすぐに [vMedia Policies] 画面に戻り、送 信した情報が表示されます。

reate vi	Media Po	DIICY						a .
ame	: HX-	vMedia						
escription	:	a Olyan						
Media Moun	its	o o res						
+ - 72/	Advanced Filter	♠ Export	🖶 Print					٥
Name	Туре	Protocol	Authentica	Server	Filename	Remote Pa	User	Remap on
Windo	CDD	HTTP	Default	10.29.149	en_windo	/images/		No
			(+) Ac	d 🖲 Delete	Info			
							_	
							ок	Cancel

- g) 手順 2e と 2f を繰り返しますが、タイプを HDD に、ファイル名をCisco HyperFlex driver image に変更します。
- h) この手順の終わりでは、次のスクリーンショットに示すように、2つのvMediaマウントが [Create vMedia Policy] 画面に表示されます。

Create vN	Media Po	olicy						? ×
Name Description Retry on Mount vMedia Mount	: HX- : Failure :N ts	vMedia o • Yes						
+ - 7/4	Advanced Filter	♠ Export	🖶 Print					٥
Name	Туре	Protocol	Authentica	Server	Filename	Remote Pa	User	Remap on
HX-Cis	HDD	HTTP	Default	10.29.149	HXInstall	/images/		No
Windo	CDD	HTTP	Default	10.29.149	en_windo	/images/		No
			(+) A	4 Delete	O loto			
			04		0 110			
							ОК	Cancel

- ステップ8 vMedia ポリシーをサービス プロファイルに関連付けます。
 - a) [Navigation (ナビゲーション)] ペインで、[Servers (サーバ)] > [Service Profile Templates (サー ビス プロファイル テンプレート)] > [root (ルート)] > [Sub-Organizations (サブ組織)] > [hx-cluster_name] > [Service Template (サービス テンプレート)] [compute-nodes]、または [compute-nodes-m5] を選択します。



- b) [vMedia Policy] タブをクリックします。次に、[Modify vMedia Policy] をクリックします。
- c) ドロップダウンの選択肢から、作成した vMedia ポリシーを選択し、[OK] を2回クリック します。

Modify v	Media Po	licy						
vMedia Policy:	HyperFlex Select vMedia	Policy to us	se Dation]				
Name Description Retry on Mo	Create a Spec vMedia Policie HX-vMedia HyperFlex	sific vMedia	Policy	nstall software o	n HyperFlex ser	vers		
+ -	T, Advanced Filter	♠ Export	🖷 Print)				
Name	Туре	Protocol	Authent	icat Server	Filename	Remote Path	User	
				No data avail	able			2220

d) [General] タブで、仮想メディア(vMedia)ポリシーがサービス プロファイルに追加され たことを確認します。

altala cisco	UCS Manager	8) 👽 🙆 🏵	. 8
乕	Service Profiles	Service Profiles / root / Sub- Organizations	/ HyperFlex / Service Profil	
8	 Service Profiles root 	C General Storage Network	ISCSI vNICs VMedia Policy Boot Order Virtual Machines FC Zones	Policies Se
器	 Sub-Organizations HyperFlex 	Modify vMedia Policy	Name : HX-vMedia	
.	rack-unit-1 (HXCLUS) rack-unit-2 (HXCLUS)		Description : Retry on Mount Failure : Yes	
=	 rack-unit-3 (HXCLUS) rack-unit-4 (HXCLUS) 		vMedia Mounts + - Ty Advanced Filter ↑ Export ♣ Print	
-	 Sub-Organizations 		Name Type Protocol Authentic Server Filename	Remote P_
			HX-Cis HDD HTTP None 10.29.149 H00nstall Windo CDD HTTP None 10.29.149 en_wind	/images/ o /images/

ステップ9 ブート ポリシーを変更し、ブート順序を設定して CIMC CD/DVD をリストに追加します。

- a) [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。
- b) [Servers (サーバ)] > [Policies ()] > [root (ルート)] > > [Boot Policies (ブート ポリシー)] > [hx-compute]、または [hx-compute-m5] を展開します。

	Inco HyperFlox Connect X I III Mopular	nscipublyper.com/hyper1 X 🔺 Uf-R - United Com	angelation x +						
¢	7 C A NOTSHOP Milph //192.1021	With apply 0, 20 years and							0000
141)14 9100	UCS Manager		S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	ູ ນ					000©
	Al Server Pool Policies Server Pool Policies Threshold Policies difficult on the server in Policies	Servers / Policies / root / Sub- Organizations / MC General Events Actions	ale-mx / Boot Policies / Boot Policy						
	Mada Polcies	Delete Stone Balan Linane	Description	Recommended boot policy for HunerFlax servers					
Ξ.	JACA HA Parament Process	Die Gebel	Owner	Local					
-	Sub-Organizations		Reboot on Boot Order Charge	0					
۳.	 topic-ms. 		Enforce vMCAH6A/SCS Nam	- 8					
=	Adapter Policies		Boot Mode	Elegacy O'Veh					
	 BIOS Policies 	Winner							
	· Boot Pulicies	The base forces of the sector bases and indicate at							
	Boot Policy hx-compute	The effective order of boot devices within the same	e device class (LAN/Storage/SCS) is determined by	PDe bus scan order.					
-	Book Policy hs-compute-ind	If it is not selected, the vNCs/vHBAs are selected	If they exist, otherwise the uNIC/UNIA with the lower	PCIe but scan order is used.					
	Boot Policy HyperFiles								
	Boot Policy HyperFiles Boot Policy HyperFiles -m5	Local Devices	Boot Order						
	Boot Policy HyperFiles Boot Policy HyperFiles -m5 Boot Policy sarboot	Local Devices	Boot Order + - Ty-Advanced Filter + E	oor @Pire					0
	Boot Policy MyperFiles Boot Policy MyperFiles -m5 Boot Policy sanboot > Diagnostics Policies	Local Devices OrMC Mounted vMedia	beet Order + - % Abanced Filter + E forme Order	oort ⊕ Prist ▲ vNC/HBA/GCType UUN N	me www.	StrtNanber	Boot Name	Bott Path	Description
	Boot Policy HyperFlex Boot Policy HyperFlex-m5 Boot Policy sanboot Diagnostics Policies Graphics Card Policies	Local Devices OIMC Mounted vMedia	Beet Onder + - *_xAdvanced Filter 0: dar Name Onder C0/0VO 1	oort ∲ hins. ▲ vhaCuneBArdSC	ne WWN	SotNumber	Boot Name	Boot Parts	Description
	Boot Palicy HyperFiles Boot Palicy HyperFiles ind- Boot Palicy surboot Despression Palicies Graphics Card Policies Hight Firmware Packages	Local Devices OLAC Mounted vMedia whiCs	Book Onder + - 7, Advanced Filter + C Name Order C	oot ∲ihre • vlaCiveBAIGC., Type UUN N	me WWN	SutNumber	Boot Name	Boot Parts	Description
	Boot Palcy HyperFee Boot Palcy HyperFee +r0- Boot Palcy sentoor • Dagwords Palces • Craphics Card Palces • Host Immune Palcages • Host Immune Palcages • KhAllwathin Access Profiles	Excal Devices Excal Devices OMC Mounted vMedia WNOs WNOs WHEAs	Best Onder + - % Adversell Filter 0.1 Name Oxder 0.1 C007VD 3 0.0 Local DeA 2 0.1	ever the here which which which which which which which which is a start of the sta	ne WWN	Sut Number	Boot Name	Boot Parts	© Description
	Boch Paloc MysenPlan - Mo Boch Paloc MysenPlan - MG Boch Paloc Markes santoot - Dagworks Nations - Palot Timmare Packages - Palot Timmare Packages - Palot Timmare Packages - Cold Tabacegement Paloces	Excel Devices Other Mounted vMedia Other Mounted vMedia	Seet Onder + - *y,Aharonel Rine + + - *y,Aharonel Rine + - + - + - + - + - + - - + - + - + -	оот ф.Лик • Инблибалобо, Тури Цалам	me WWN	Sot Number	BootName	box Pen	Description
	Boch Parks y MyserTex - m5 Boch Parks y MyserTex - m5 Boch Parks y santosch Dagronnics Parkets - Hond Thimware Parkets - Hond Thimware Parkets - Brid/Instrah Access Parkets - Cond Management Parkets - Local Dak Cond p Parkets - Meetmance Parkets	Excal Devices OtAC Mounted vMedia OtAC Mounted vMedia OtACs VHCs OtACs	Boot Ondur + - Y ₂ Advanced Rinur + E Name Ondur Ondur - C CODVD 3 - C C Local DeA 2 - - -	oor ⊕ifer • velCuH6AIOC Type UUrthe	ne www	SutNumber	Boot Name	Bost Parts	Description
	Boot Palos MyenPlan Boot Palos MyenPlan - MO Boot Palos Santos Departers Shifees O captors Card Palotes Department Palotages Hout Finneare Palotages Hout Finneare Palotages Local Data Contig Palotes Mantemarce Palotas Mantemarce Palotas	Excal Devices Encol Devices Child Modula WNDs vHIDs vHIDs OSDSI VNDs EFI Shell	Base Onder + - % Advanced Film: 0 Name Onder 0 0 C0-0Y0 3 0 0 Local DeA 2 0 0	ent @her. • vhCr46AGC Type UAPIN • bAcket	me WWN	Sutharber	Boot Name	bot Puts	O Description
	Boch Paloc MyanPlan Boch Paloc MyanPlan - et-G Boch Paloc MyanPlan - et-G Boch Paloc San Boch Diagnostic San Bollows - Nather San Bollows - Schild Managament Paloces - Mariamano Paloces - Mariamano Paloces - Paloces - Paloces	Excal Devices ONC Nounced vMedia OnC Nounced vMedia OnCs vHEAs OCSI VMCS OESI VMCS OESI Shell	Boot Onder (+) =	oor Φ/her • veb/n64/60 Τχρε U/Ar N * More Up	me WWW & Mous Down @ D	Sut Number live	Boot Name	Boot Parts	Description
	Boot Palos MyenPlex and Boot Palos MyenPlex and Boot Palos Marcos Despression Despression Despression Despression Despression Despression Cost Despression Management Paloses Management Paloses Palose Costa Palos Palose Costa Palos	Excal Devices OthC Mounted vMedia OthC Mounted vMedia OthCs VHCs VHCs OthCs OthCs OthCs OthCs OthCs	Best Ondur + - *_2.Aharood Rav + + - *_2.Aharood Rav + - * -	oor ⊕iher • vHOHBAGO, Type UMIN • More Up	ine WWV	Sut Number	Bost Name	Boot Parts	Cesorption
	Boot Palocy HyperFlase HO Boot Palocy HyperFlase HO Boot Palocy Safety Safety Departers Shifees Departers Shifees Department Paloces Hourt Firmware Palocages Hourt Jones Devices Local Data Config Paloces Mantemarce Paloces Mantemarce Paloces Mantemarce Paloces Palores Sync Paloces Depart Paloces	Excal Devices ORIC Mounted vMedia OriCs VHCs OriCs VHCs OCSI VHCs OESI VHCs	BootOndur + - Y, Advanced Raw P. Lin Name Ondur Ondur Ondur C0/07/0 3 Local Dail 2	ent I fine • VNCHENIGC Type UNITIN • More Lip	ene WWW	Sut Number	Boot Name	Bost Parts	O Description
	Boot Palos MyenPlan Boot Palos MyenPlan - end Boot Palos Marcos Desprotecia Palos - Desprotecia Palos - Desprotecia Palos - Desprotecia Palos - Real Management Palos - Real Confu Palos	Elecal Devices ONC Nouncel vMedia OnC Nouncel vMedia OnCs vHBAs OSCS vNCs OES Snell	Seet Order (+) =	oor ⊕her • veCon64400., Type U.U.r.N ↑ More ty	etne 18WW	Sot Number	Boot Name	Boot Parts	Crescryton
	Boot Palos MyenPlex and Boot Palos MyenPlex and Boot Palos Myens and South Despheres Sant Palos - Oraphics Card Palos - Hord Temase Packages - Hord Result Palos - Cord Dalo Carda Palos - Martenance Palos - Palos Sync Palos - South Palos	Excal Devices CRAC Mounted vMedia WACs VHACs Or VHBAs GCDI VHCS EFI Shell	Best Onder (+) - 7, Aharood Raw 0. Name Onder CODVD 3 Cool DeA 2	en ⊕ Pret • VHOH-BANDO, Type UAN N ↑ More Lip	me XWW	Sut Number	Boot Name Actio	Boot Puth	Oesorption

- c) (M5サーバのみ)[Boot Order (ブート順序)] 設定ペインで、[CIMC Mounted CD/DVD (CIMC マウント CD/DVD)] をクリックします。次に、[CIMC マウント CD/DVD の追加(Add CIMC Mounted CD/DVD)] をクリックして、これをブート順序に追加します。上に移動 ボタンを 使用してブート順序の先頭に移動します。
 - **重要 CIMCマウントCD/DVD**オプションはその他のオプション、**ローカルディスクの 組み込みとCD/DVD**の前のブート順序で最上位である必要があります。

(ローカル SAS ドライバを備えた M4 サーバの場合)[Boot Order (ブート順序)] 設定ペイン で、[vHBAs] をクリックします。次に、[ADD SAN boot (SAN ブートの追加)] をクリック して、ブート順序に追加します。

- d) [Save Changes] をクリックし、[Success] ダイアログボックスで[OK]をクリックします。変 更されたブート ポリシーが保存されます。
- ステップ10 成功した vMedia マウントを確認します。
 - a) [機器 (Equipment)] タブで、いずれかのサーバを選択します。
 - b) [インベントリ>CIMC] をクリックし、下にスクロールしてマウントエントリ #1 (OS イ メージ) とマウントエントリ #2 (Cisco HyperFlex ドライバイメージ) を確認し、ステータ スが [マウント済み] であり、障害がないことを確認します。

cisco.	UCS Manager		8	V 🔔 4 1	0			800 80
.	Al	Equipment / Rack-Mounts /	Servers	/ Server 1				
•	 Equipment Chassis 	General Inventory Motherboard CIMC	Virtual CPUs	Machines GPUs	Hybrid Display Installed Memory Adapters H	Firmware SEL Logs Ci BAs NICs ISCSI vNICs	MC Sessions VIF P	aths Power Control Monitor>
88	 Rack-Mounts FEX 				Boot-loader Version: 3.1 Running Version: 3.1(3a Deckade Version: 3.2(3a	(3a))		
	Servers Server 1				Backup Version : 3.2(3a Backup Version : 3.1(2d) Update Status : Ready			
=	 Server 2 Server 3 				Startup Version : 3.1(3a) Activate Status : Ready Actual vMedia Mounts			
	Server 4 Server 4 Fabric Interconnects				Actual Mount Entry 1			
Jo	Fabric Interconnect A (primary) Fans				Mapping Name Protocol	Windows-ISO	Type Server	CDD 10.29.149.212
	Fixed Module PSUs				Remote Path	: Amages/	User	rs_server_2016_x64_dvd_93277
	Fabric Interconnect B (subordinate) Fans				Status Authentication Protocol	: Mounted : None	Mount Failure Reason Remap on Eject	None
	Fixed Module Ethernet Ports				Actual Mount Entry 2	HX-Cisco-Driver	Type	HDD
	PSUs				Protocol	HTTP	Server	: 10.29.149.212
	 Porces Port Auto-Discovery Policy 							DatacenterCore-v3.0.1b- 29665.img
					Remote Path	/mages/	User	
					Status Authentication Protocol	: Mounted : None	Mount Failure Reason	: None : No

- c) メニューバーで [サーバ (Servers)] をクリックし、最初の HyperFlex サービス プロファイル を選択します。
- d) [General] タブをクリックし、[Actions] > [KVM Console>>] を選択します。
 - (注) 新しいブラウザで KVM コンソールが開いてみます。ポップアップブロッカーに 注意してください。ポップアップを許可して、KVM を再び開きます

uluilu cisco	UCS Manager		Ć	🕄 👽 🙆 (0 4 1	₽	
Æ	Service Profiles Service Profiles root	Service Profiles / root	/ Sub-Organiza ige Network	itions / HyperFle	x / Service Profile	rack-un Boot Order Virtual M
格	 Sub-Organizations Identified 	Fault Summary			Properties	
≣	HyperFlax rack-unit-1 (HXCLUS)		0	0		This service pr
Q	 rack-unit-2 (HXCLUS) rack-unit-3 (HXCLUS) 	Status				the ser To modify this ser
=	 rack-unit-4 (HXCLUS) Sub-Organizations 	Overall Status : 🛉 C	ĸ		Name User Label Description	: rack-unit-1 : HXCLUS
ت مد		Actions Set Desired Power S Boot Server	KVM Co Service Profile (10.29.14	onsole-Selec derived: 19.191 (Outband)	t IP Address	×
		Shutdown Server Reset	6	Launch Java K\	/M Console OK	Cancel
		KVM Console >>			Template Instance	: org-root/org-Hy
					Assigned S	Server or Server Pool

- e) ホストを再起動し、KVM を起動して、Windows インストールの進捗状況を監視します。
 [ファイルを読み込んでいます (Loading Files)] 画面が表示されます。Windows はユーザーの介入なしに自動的にインストールされます。青い画面が表示され、しばらくすると[セットアップが開始されました(Setup is starting)]メッセージが表示されるはずです。自動インストールが開始されない場合は、両方のイメージがサーバにマウントされていることを再度確認します。
- f) Windowsのインストールが完了すると、コマンドプロンプトが表示されます。インストー ルが完了するまで待ちます。その後、ホストは数回再起動します。
 c:\users\administrator>でクリアコマンドプロンプトが表示されたら、インストー ルは完了です。ドライバイメージをコピーしてインストールするには数分かかり、リブー ト操作が必要になることがあります。
 - (注) [指定されたファイルが見つかりません(The system cannot find the file specified)] というメッセージがプロンプトに表示される場合は無視してください。
 - **重要** HX クラスタに含めるすべてのサーバで**ステップeとf** が完了していることを確認します。
- g) 各サーバにログインし、C>Users>Administrator>Get-ScheduledTask コマンドを入力し、HX Install Bootstrap Launcher タスクが実行中であることを確認します。

ステップ11 サービス プロファイルから vMedia ポリシーを削除します。

a) サービス プロファイルから vMedia ポリシーをマップ解除するには、[Servers (サーバ)]> [Service Profile Templates (サービス プロファイル テンプレート)]> [root (ルート)]> [Sub-Organizations (サブ組織)]>[*hx-cluster_name*]>[Service Template (サービス テンプレー ト)] [ompute-nodes] または [compute-nodes-m5] を順に選択します。次に、[Modify vMedia Policy]を選択します。

- b) [vMedia ポリシー(vMedia Policy)] ドロップダウンの選択肢で、2 つのイメージのマップ に使用した vMedia ポリシー(*HX-vMedia*)をオフにします。
- ステップ12 インストール前に、ブート順序を復元します。
 - a) [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。
 - b) [Servers (サーバ)] > [Policies ()] > [root (ルート)] > > [Boot Policies (ブート ポリシー)] > [hx-compute]、または [hx-compute-m5] を展開します。
 - c) [Boot Order]の設定ペインで、CIMC マウント CD/DVDオプション リストの一番下に移動 するのに下へ移動] ボタンを使用します。

この手順で復元したブート順序については、次のスクリーンショットを参照してください。

Boot Order							
+ - Y Advanced Filte	er 🔶 Export 🚔 Print						ł
Name	VNIC/vHBA/iSCSI v	Туре	L. WWN	S	В	В	D
CIMC Mounted CD/	1						
⊸ San	2						
SAN Primary	hx-ext-fc-a	Primary					
SAN Target Pr		Primary	0 20:7C:00:A0:98:53:05:56				
- SAN Secondary	hx-ext-fc-b	Secondary					
	t M	ove Up 🕴 Move Down 🍵 Dele	te				
Set Usif Boot Pennie	ters						

次のタスク

この手順の最後に、Windows OS が正常にインストールされます。次に、「ハイパーバイザ設 定、HXDP ソフトウェアのインストールとクラスタの拡張」に進み、クラスタ拡張ワークフ ローの残りの手順を実行します。



I



トラブルシューティング情報

・トラブルシューティング (123ページ)

トラブルシューティング

ここでは、Hyper-V展開中に発生した問題のトラブルシューティング情報を示します。

回避策と推奨事項
障害が発生したノードを再起動す るか、ログアウトしてから再度ロ
グインします。
フェールオーバークラスタマネー ジャ(FCM)でファイルウィットネ ス共有を作成し、ウィットネス共 有として構成します。作成された ウィットネス共有を他の目的で使 用しないことをお勧めします。
 ・VLAN ID を手動で設定して再 試行するか、 ・コントローラー VM を削除し て、再試行してください。

症状またはシナリオ	回避策と推奨事項
HX インストーラへの不正な Active Directory クレデンシャ ルが原因で、HX インストーラがコンピュータをドメイン に参加できません。	インストールの「HX Data Platform のインストーラとクラスタ設定の 展開」の段階で HX のインストー ラを再起動し、正しいクレデンシャ ルを入力します。
クラスタ内のいずれかのコントローラ VM がダウンして いるときに、表示されるノードごとの統計が信頼できな いものになります。	いずれかのコントローラ VM がダ ウンしているときは、Windows 側 のカウンタを使用してください。
クラスタのインストールが正常に完了すると、HX Connect の FQDN アドレスにアクセスできない場合があります。	 Windows 2008 のデフォルトの Internet Explorer セキュリティ設定 により、FQDN 名を使用した HX 接続のアクセスを防止します。回 避策として、次のいずれかが可能 です。 Internet Explorer の設定を変更 します。 IP アドレスを使用します。 Chrome や Firefox などの、サ ポートされるブラウザを使用 します。
コンピューティング専用ノードでは、[HX Connect Dashboard (HX Connect ダッシュボード)]ページでパフォー マンス チャートを使用できません。	これは1nlyノードです。
次のエラーのために Windows のインストールに失敗しま した。 システム パーティションを検出できませんでした。 さらに、setupact.logでは、セットアップにより使用 可能なディスクを有効なブート デバイスとして検出でき なかったことが示されています。	 ブートポリシーを組み込み ディスク(任意)に切り替えま す。 サービスプロファイルまたは サービスプロファイルテンプ レートの場合、 compute-nodes-m5ではな く、hx-nodes-m5をミラーリ ングするブートポリシーを使 用します。
互換性のないプロセッサが原因で移行が失敗しました。	クラスタに異なる CPU タイプを組 み合わせて設定することはできま せん。



付録

- Cisco HyperFlex ノードの設置 (125 ページ)
- ファブリックインターコネクトの設定(126ページ)
- WinSCP を使用してインストーラ VM に iso と img ファイルをアップロードするには (130 ページ)
- DNS レコード (132 ページ)
- •HX サービス アカウント パスワードの更新 (133 ページ)

Cisco HyperFlex ノードの設置

HyperFlex クラスタとノードの制限の詳細については、Cisco HX データ プラットフォームのリ リース ノートの最新バージョンで、Cisco HX データ プラットフォーム ストレージ クラスタ 仕様を参照してください。

Cisco HyperFlex ノードのインストールの詳細については、次の表からそれぞれのリンクを参照 してください。

インストール先のノードのタイプ	参照先
コンバージドノード	
HyperFlex HX220c M5 ノード	Cisco HyperFlex HX220c M5 ノードインストー ルガイド
HyperFlex HX240c M5 ノード	Cisco HyperFlex HX240c M5 ノードインストー ルガイド

(

重要 コンピューティング専用ノードは、3.0(1a)の Hyper-V ではサポートされていません

ファブリック インターコネクトの設定

高度な可用性をもたらすため、ファブリックインターコネクトの冗長ペアを設定します。L1 またはL2の高可用性ポート間で、イーサネットケーブルを使用して直接2つのファブリック インターコネクトに接続します。ファブリックインターコネクトAのポートL1はファブリッ クインターコネクトBのポートL1に接続し、ファブリックインターコネクトAのポートL2 はファブリックインターコネクトBのポートL2に接続します。これにより、両方のFIがお 互いのステータスを継続的にモニタできます。

ファブリックインターコネクトを接続する前に、次の情報を確認して入手してください。

項目	説明
ファブリックインターコネクトの物理 的な接続の確認。	 第1のファブリックインターコネクトのコンソー ルポートが、コンピュータまたはコンソールサー バに物理的に接続されている必要があります。
	 管理イーサネットポート (mgmt0) が外部のハ ブ、スイッチ、またはルータに接続されている必 要があります。
	 両方のファブリックインターコネクトのL1ポートが互いに直接接続されている必要があります。
	 両方のファブリックインターコネクトのL2ポートが互いに直接接続されている必要があります。
コンピュータ端末でのコンソールポー	・9600 ボー
ト パラメータの確認。	•8データビット
	• パリティなし
	•1ストップビット
初期設定の情報の取得。	初期設定に関する次の情報を収集します。
	 システム名
	• admin アカウントのパスワード
	•3 つの静的 IP アドレス
	•3 つの静的 IP アドレスのサブネット マスク
	・デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
	・DNS サーバの IP アドレス。
	 システムのドメイン名

Cisco HyperFlex Systems リリース 4.0 インストール ガイド (Microsoft Hyper-V 用)

両方のファブリックインターコネクトで、同じセットアッププロセスを実施する必要があり ます。プライマリファブリックインターコネクトをセットアップし、クラスタ設定を有効に します。同じプロセスを使用してセカンダリファブリックインターコネクトを設定すると、 最初のファブリックインターコネクトがピアとして検出されます。

GUI によるプライマリ ファブリック インターコネクトの設定

プライマリファブリックインターコネクトを設定するための下記の手順に従うか、「Cisco UCS Manager Initial Setup part 1」をご覧ください。



Attention IPv4 アドレスは、hyperflex に必要です。

Procedure

- ステップ1 ファブリックインターコネクトの電源を入れます。 ファブリックインターコネクトが起動すると、電源投入時セルフテストのメッセージが表示されます。
- **ステップ2** システムがリースを取得したら、手順6に進みます。それ以外の場合は次の手順に進みます。
- **ステップ3** コンソール ポートに接続します。
- **ステップ4** インストール方式プロンプトに gui と入力します。
- ステップ5 システムがDHCPサーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
 - •ファブリックインターコネクトの管理ポートの Ipv4 アドレス。
 - •ファブリックインターコネクト上の管理ポートの Ipv4 サブネットマスク。
 - ファブリックインターコネクトに割り当てられたデフォルトゲートウェイの IPv4 アドレス。
- ステップ6 プロンプトから、Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS Manager GUI 起動ページ に移動します。
- **ステップ7** Cisco UCS Manager GUI 起動ページで [Express Setup] を選択します。
- **ステップ8** [Express Setup] ページで [Initial Setup] を選択し、[Submit] をクリックします。
- **ステップ9** [Cluster and Fabric Setup] 領域で、以下の操作を行います。
 - a) [Enable Clustering] オプションをクリックします。
 - b) [Fabric Setup] オプションに対して [Fabric A] を選択します。
 - c) [クラスタ IP アドレス]フィールドに、Cisco UCS Manager で使用する IPv4アドレスアドレ スを入力します。
- ステップ10 [System Setup] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

フィールド	説明
[System Name] フィールド	Cisco UCS ドメインに割り当てる名前。 スタンドアロン設定では、システム名に「-A」 が追加されます。クラスタ設定では、ファブ リック A に割り当てられたファブリック イン ターコネクトに「-A」が、ファブリック B に 割り当てられたファブリック インターコネク トに「-B」が追加されます。
[Admin Password] フィールド	ファブリックインターコネクト上のAdminア カウントに使用されるパスワード。 Cisco UCS Manager のパスワードのガイドライ ンに適合する強力なパスワードを選択します。 このパスワードは空にできません。
[Confirm Admin Password] フィールド	ファブリックインターコネクト上の Admin ア カウントに使用されるパスワード。
[Mgmt IP Address] フィールド	ファブリック インターコネクト上の管理ポー トの IPv4 アドレス。
[Mgmt IP Netmask] フィールドまたは [Mgmt IP Prefix] フィールド	ファブリック インターコネクトの管理ポート の IPv4 サブネット マスク プレフィクス。
	Note [Mgmt IP Address] フィールドに入力 したアドレスタイプに基づいて、シ ステムから [Mgmt IP Netmask] また は [Mgmt IP Prefix] への入力が求めら れます。
[Default Gateway] フィールド	ファブリック インターコネクト上の管理ポー トに割り当てられるデフォルト ゲートウェイ IPv4 アドレス。
	Note [Mgmt IP Address] フィールドに入力 したアドレスタイプに基づいて、シ ステムから [Default Gateway] アドレ スタイプへの入力が求められます。
[DNS Server IP] フィールド	ファブリック インターコネクトに割り当てら れる DNS サーバ IPv4 アドレス。
[Domain Name] フィールド	ファブリック インターコネクトが存在するド メインの名前。

I

ステップ11 [Submit] をクリックします。、 セットアップ操作の結果がページに表示されます。

GUI による従属ファブリック インターコネクトの設定

従属ファブリックインターコネクトを設定するための下記の手順に従うか、「Cisco UCS Manager Initial Setup part 2」をご覧ください。

Procedure

- ステップ1 ファブリック インターコネクトの電源を入れます。 ファブリック インターコネクトが起動すると、電源投入時セルフテスト メッセージが表示されます。
- **ステップ2** システムがリースを取得したら、手順6に進みます。それ以外の場合は次の手順に進みます。
- **ステップ3** コンソール ポートに接続します。
- **ステップ4** インストール方式プロンプトに gui と入力します。
- ステップ5 システムがDHCPサーバにアクセスできない場合は、次の情報を入力するよう求められます。
 ・ファブリック インターコネクトの管理ポートの Ipv4 アドレス
 - •ファブリックインターコネクト上の管理ポートの Ipv4 サブネットマスク
 - ファブリックインターコネクトに割り当てられたデフォルトゲートウェイの IPv4 アドレス
- ステップ6 プロンプトから、Web ブラウザに Web リンクをコピーし、Cisco UCS Manager GUI 起動ページ に移動します。
- **ステップ7** Cisco UCS Manager GUI 起動ページで [Express Setup] を選択します。
- **ステップ8** [Express Setup] ページで [Initial Setup] を選択し、[Submit] をクリックします。

ファブリックインターコネクトは、第1ファブリックインターコネクトの設定情報を検出します。

- **ステップ9** [Cluster and Fabric Setup] 領域で、以下の操作を行います。
 - a) [Enable Clustering] オプションを選択します。
 - b) [Fabric Setup] オプションに対して [Fabric B] が選択されていることを確認します。
- **ステップ10** [System Setup] 領域の [Admin Password of Master] フィールドに Admin アカウントのパスワード を入力します。 [Manager Initial Setup] 領域が表示されます。
- ステップ11 [マネージャー初期セットアップ]で、以下を行います。

ステップ12 [Submit] をクリックします。`

セットアップ操作の結果がページに表示されます。

WinSCP を使用してインストーラ VM に iso と img ファイ ルをアップロードするには

ISOとIMGファイルのホストとしてインストーラVMを使用し、Hyper-Vをインストールする ことを選択します。完了するには、インストーラに Windows ISO および Cisco HyperFlex ドラ イバイメージをアップロードする必要があります。

このガイドの目的は、WinSCPを使用し、利用可能なSCPクライアントを何でも使用できるようになることです。

手順

- ステップ1 Windows の SCP クライアントをダウンロードします。WinSCP(https://winscp.net/eng/download.php)である可能性があり、ワークステーションにインストール します。
- ステップ2 WinSCP からインストーラ VM に接続します。ユーザ名には「root」、パスワードには「Cisco123」を使用してください。
 - **重要** システムは、デフォルトのパスワード[Cisco123]で出荷されますので、インストール 中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定し ない限り、インストールを続行できません。

Login	– – X
Session	
Eile protocol:	
SCP 🗸	,
Host name:	Po <u>r</u> t number:
10.101.1.228	22
User name:	Password:
root	
<u>S</u> ave ▼	A <u>d</u> vanced ▼
🔁 Login	Close Help

ステップ3 キーを受け入れ、キャッシュに追加します。



- ステップ4 接続されたら、インストーラのフォルダ/var/www/localhost/images/を参照します。マシンにあるローカル ファイルを参照します。
- **ステップ5** ファイルを転送します。ブラウザの URL にアクセスする場合ファイル名をコピーできます: *http://<controller_IP>/images/ </controller_IP>*



DNSレコード

ご使用の環境に追加する必要がある DNS レコードについては、以下のリストを参照してくだ さい。

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "-CNTL" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "-CNTL" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "-CNTL" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

Add-DnsServerResourceRecordA -Name "-CNTL" -ZoneName "Ciscolab.dk" -AllowUpdateAny -IPv4Address "" -TimeToLive 01:00:00 -CreatePtr -computername

HX サービス アカウント パスワードの更新

パスワードの期限が切れた場合、または自発的に変更された場合は、HX クラスタ内で新しい パスワードを更新する必要があります。Cisco HX サービス アカウントのパスワードを更新す るには、次の手順に従います。

(注) VMとデータストアへのアクセスは、引き続き新しいパスワードなしで動作します。ただしクラスタで、アラート、システムステータス、サポートバンドル、データストアアクセスレポートに問題が発生します。

始める前に

Cisco HX サービス アカウントのユーザー名が次の形式であることを確認します。

<username@domain.com>

手順

クラスタ内のいずれかのストレージコントローラ ノードから resethypervcred -u コマンドを 実行します。

例:

次に、コマンドの出力例を示します。

root@cvmhv1:~# resethypervcred -u
Enter service admin name:administrator@domain.com
Enter service admin passwd:
Enter local admin name:administrator
Enter local admin passwd:
Hyperv creds updated successfully

各コントローラ vm に root ユーザとしてログインし、hxHyperVSvcMgr の再起動を実行します。

リセットとサービスの再起動が完了したら、HX サービスアカウントユーザとしてHX Connect にログインし、ログインが機能し、HX Connect にクラスタ情報が表示されていることを確認 します。